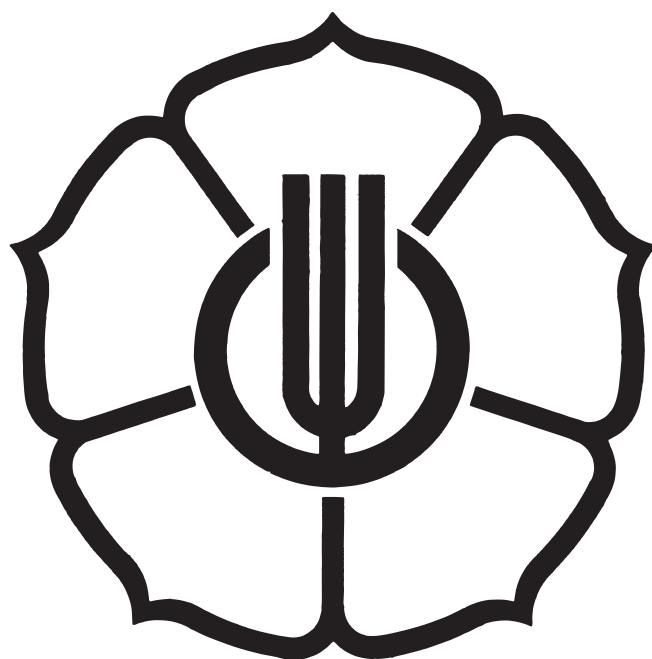


# 土岐市スポーツ協会 70周年記念誌



土岐市スポーツ協会

# 目 次

## 発刊のことば

土岐市スポーツ協会会長兼土岐市長      加藤 淳司  
土岐市議会議長                              後藤 正樹  
70周年記念式典・祝賀会  
被表彰者名簿  
土岐市スポーツ協会70年のあゆみ

## 土岐市スポーツ協会

|                   |    |                  |    |
|-------------------|----|------------------|----|
| 陸上競技協会……………       | 1  | ライフル射撃協会……………    | 35 |
| 軟式野球連盟……………       | 4  | ゴルフ連盟……………       | 36 |
| ソフトテニス連盟……………     | 6  | グランドゴルフ協会……………   | 37 |
| 卓球協会……………         | 8  | 水泳協会……………        | 39 |
| バレーボール協会……………     | 9  | カヌー協会……………       | 42 |
| 剣道連盟……………         | 11 | スキー協会……………       | 43 |
| 柔道協会……………         | 13 | スケート協会……………      | 45 |
| 弓道協会……………         | 15 | 馬術協会……………        | 46 |
| ウエイトリフティング協会…………… | 17 | ボウリング協会……………     | 47 |
| クレー射撃協会……………      | 18 | パワーリフティング協会…………… | 48 |
| 空手道協会……………        | 19 | スポーツ少年団……………     | 49 |
| アーチェリー協会……………     | 20 | 中学校体育連盟……………     | 50 |
| サッカー協会……………       | 23 | 土岐津町体育協会……………    | 51 |
| バドミントン協会……………     | 25 | 下石町スポーツ協会……………   | 53 |
| バスケットボール協会……………   | 27 | 妻木町体育協会……………     | 55 |
| ソフトボール協会……………     | 28 | 鶴里町体育協会……………     | 56 |
| 体操協会……………         | 29 | 曾木町体育協会……………     | 58 |
| ゲートボール協会……………     | 30 | 駄知町体育協会……………     | 60 |
| テニス協会……………        | 32 | 肥田町体育協会……………     | 62 |
| インディアカ協会……………     | 34 | 泉町スポーツ協会……………    | 63 |

|                      |    |
|----------------------|----|
| 土岐市スポーツ協会規約・規程集…………… | 65 |
|----------------------|----|



## 土岐市スポーツ協会 設立70周年記念誌発刊にあたって

土岐市スポーツ協会会長・土岐市長 加藤 淳 司

このたび、土岐市スポーツ協会は設立70周年という節目を迎えることができました。本協会が、今日までの長きにわたり地域のスポーツ活動を支え続けられたのも、ひとえに土岐市の皆様の温かいご支援とご協力あつてのことと存じます。心より感謝申し上げます。

振り返りますと、本協会は昭和30年8月5日、アマチュアスポーツの普及・振興、そして市民の体力・競技力の向上とスポーツ精神を養うことを目的として誕生しました。設立当初の加盟団体は10団体でしたが、関係の皆様方の多大なるご尽力とたゆまぬご努力により、現在では30の競技種目と各町スポーツ協会など、40団体が加盟する組織となりました。

この70年間の成果は、協会の力を礎に、地元クラブチーム、学校、地域企業、そして何よりもお一人お一人の活動が積み重なり、健全なスポーツ文化が築き上げられたことであると思います。

土岐市スポーツ協会は、次の10年へ向け、これまでの歩みをさらに進められるよう、競技能力向上を目指す方々はもちろん、日々の健康維持やスポーツを楽しみたい方々を支援できる体制を充実させ、地域の発展に貢献しながら、共に汗を流せる場を提供できるよう、挑戦を続けてまいります。

結びにあたり、これからもスポーツの力を通じて、土岐市がさらに輝ける地域となるよう、変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、発刊のあいさつといたします。



## 発刊のお祝い

---

土岐市議会議員 後 藤 正 樹

土岐市スポーツ協会が創立から70周年という記念すべき節目を迎えられ、ここに輝かしい歴史と伝統を後世に伝える記念誌を発刊されますことは、誠に喜ばしい限りであり、心からお祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、70年の長きにわたり、市民スポーツ大会をはじめスポーツフェスティバルや焼津市とのスポーツ交流事業など、子どもから高齢者まで親しめる大会の開催、さらには国内トップクラスの選手育成にも努められ、その成果は目をみはるものがありました。これもひとえに歴代会長をはじめ、役員、団体の方々の並々な熱意とご尽力の賜物であり、心から敬意を表するものであります。

人生100年時代を迎え、健康で過ごすことのできる期間をいかに長く保つかが大きな課題ではありますが、スポーツの果たす役割と効果は、市民の皆さまの健康増進に結びつくとともに、私たちの日常生活に楽しみや喜びをもたらし、将来に夢や目標を与えてくれます。

市民の皆さま一人ひとりが、健康で明るく豊かな日常生活を確保するためにも、貴協会の果たす役割はますます大きいものとなっており、未来へとつながる持続可能なまちづくりに欠かせないものであります。

関係各位におかれましては、70周年を契機に、さらに市民に親しまれ、生涯スポーツの推進に寄与されますことをご期待申し上げますとともに、市議会といたしましても、微力ながら本市スポーツの充実・発展に努めてまいります。

結びに、貴協会のますますのご発展と関係する皆さま方のご活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

# 記念式典

日時：令和8年2月7日(土) 午前11時

会場：セラトピア土岐 大会議室



スポーツ協会70年のあゆみ



開式の辞（塚本六美 副会長）



会長挨拶（加藤淳司 土岐市長）



スポーツ栄誉賞授与



スポーツ功労賞授与



スポーツ功労賞授与



スポーツ協会感謝状授与



来賓祝辞（山内房寿 岐阜県議会議員）



来賓祝辞（後藤正樹 土岐市議会議員）



来賓祝辞（酒井良郎 東濃スポーツ協会副会長）



閉式の辞（徳田洋一郎 副会長）



# 祝賀会

会場：セラトピア土岐 小ホール



開会のあいさつ（杉浦節夫 副会長）



乾杯（加藤素英 理事長）



乾杯の様子



祝賀会の様子



中締め（土本浩樹 副理事長）



閉会のあいさつ（小栗信二 副理事長）

## ～ 被 表 彰 者 名 簿 ～

### 土岐市スポーツ栄誉賞

- ・ 全国規模の大会において特別優秀な成績を収め、加盟団体が特別に申請し認めたもの。

神谷 そら（ゴルフ連盟推薦）

- ・ 全国大会において優秀な成績を収めたもの

工藤 由佳（ボウリング協会）

### 土岐市スポーツ功労賞

- ・ 加盟団体の会長又は副会長、理事長を永年務めスポーツ普及に尽力のあったもの

澤田 和彦（陸上競技協会）

加藤 臣典（陸上競技協会）

羽柴 弘人（軟式野球連盟）

加藤 哲久（水泳協会）

藤井 義忠（柔道協会）

加藤 猛（インディアカ協会）

山本 素廣（下石スポーツ協会）

山口 広明（下石スポーツ協会）

鈴木 敏之（下石スポーツ協会）

- ・ 土岐市スポーツ協会役員（理事・監事）を永年務め、スポーツ協会の発展とスポーツ振興に寄与したもの

高橋 暢宏（柔道協会）

- ・ 県スポーツ大会に出場し3回以上優勝したもの

鈴木 由維（陸上競技協会）

花井 貴弘（陸上競技協会）

### 土岐市スポーツ協会感謝状

- ・ 土岐市スポーツ協会創立70周年記念に際し、多額の寄附をいただいたもの

小池 良司（歴代市スポーツ協会会長）



# ～土岐市スポーツ協会70年のあゆみ～

- 昭和30年 土岐市体育協会創立  
陸上競技・軟式野球・軟式庭球（現ソフトテニス）・卓球・バレーボール・剣道・柔道・弓道・  
ウエイトリフティング・相撲協会
- 昭和32年 社会体育優良団体として文部大臣表彰受賞
- 昭和33年 空手道協会加盟
- 昭和34年 射撃・バドミントン・自転車競技・スキー協会加盟
- 昭和36年 土岐津町・下石町・妻木町・鶴里町・曾木町・駄知町・  
肥田町・泉町の8町体育協会加盟
- 昭和38年 スケート協会加盟
- 昭和40年 サッカー協会加盟  
第20回国民体育大会を岐阜県にて開催  
ウエイトリフティング競技を土岐市民センター（西部体育館）にて開催、軟式野球競技を土岐市営大徳原球場にて開催

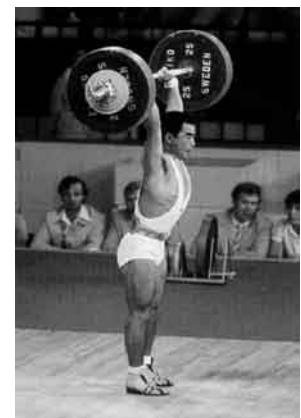


- 昭和41年 全日本ウエイトリフティング選手権兼メキシコオリンピック選手選考会を土岐市にて開催
- 昭和42年 バスケットボール協会加盟  
全国軟式野球大会を土岐市にて開催
- 昭和46年 ソフトボール協会加盟
- 昭和47年 東海五県対抗陸上競技大会を活動センター陸上競技場にて開催
- 昭和48年 アーチェリー協会・馬術協会加盟
- 昭和49年 水泳協会加盟  
第20回土岐市一周駅伝競走大会が交通事情により「さよなら大会」となる

- 昭和50年 一周駅伝廃止に替わり、第1回土岐市民ロードレース大会を開催（活動センターにて）
- 昭和51年 土岐市婦人スポーツ協議会が発足し、婦人スポーツの祭典を開催  
モントリオールオリンピックのウエイトリフティング競技バンタム級で安藤謙吉選手銅メダル獲得



- 昭和52年 体操協会加盟  
土岐商業高等学校が  
夏の甲子園大会に初出場



昭和53年 静岡県の焼津市とスポーツ姉妹都市締結  
 昭和56年 ゲートボール協会加盟  
 昭和57年 硬式庭球（現テニス）協会加盟  
 昭和58年 土岐市一周駅伝競走大会を復活  
 昭和59年 岐阜県体育大会を土岐市にて開催  
 昭和63年 エアロビクス協会加盟  
 平成 3 年 インディアカ協会・中学校体育連盟加盟  
 平成 4 年 カヌー協会・スポーツ少年団加盟



土岐商業高等学校が第4回全国高等学校女子駅伝競走大会に出場・以後6大会連続出場

平成 7 年 市制40周年記念として、40時間連続野球大会・大相撲土岐場所

NHK ラジオ体操会を開催

泉中学校が第3回全国中学校駅伝競技大会にアベック出場



平成 8 年 ライフル射撃協会加盟

土岐商業高等学校が第47回全国高等学校駅伝競走大会に男女アベック出場・以後3大会連続アベック出場、男子は以後6大会連続出場

平成 9 年 土岐商業高等学校が第48回全国高等学校駅伝競走大会男子の部第3位

平成12年 インターハイ（高校総体）ウエイトリフティング競技を開催



平成14年 肥田大介選手がドイツヴァイデンで開催された国際柔道大会17歳以下60kg級 金メダル獲得

平成16年 市制50周年を記念し、第1回スポーツフェスティバル、第1回市民マレットゴルフ大会を開催  
 土岐市体育協会50周年式典を開催

平成17年 土岐商業高等学校が28年ぶり2度目の夏の甲子園大会に出場

### 28年ぶりの夢舞台



夏の全国高校野球大会に出場した土岐高ナインは、広島県代表の高陽東高校と対戦し、健闘及ばず2対4で惜敗しました。  
 8月12日（金）

平成18年 土岐市総合活動センター陸上競技場が全天候型の競技場に改修



- 平成19年 ゴルフ連盟加盟  
焼津市とスポーツ姉妹都市締結30周年記念事業が行われる
- 平成20年 グランドゴルフ協会加盟
- 平成22年 土岐商業高等学校が5年ぶり3度目の夏の甲子園大会に出場、八頭高校（鳥取県）と対戦し快勝、甲子園初勝利を挙げる
- 平成23年 第3回ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会 初参加
- 平成24年 第67回国民体育大会 りぎふ清流国体を岐阜県にて開催  
ウェイトリフティング競技をセラトピア土岐にて、ソフトテニス競技（少年少女）を土岐市総合公園にて開催  
ウェイトリフティング競技62kg級で土岐市の加藤選手が見事6位入賞を果たす  
第4回ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会第3位（24郡市参加）



- 平成25年 第5回ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会第4位（24郡市参加）
- 平成26年 市制60周年を記念し、TOKI スポーツフェスティバルを開催



県の「ラモス清流の国づくり夢プロジェクト」として、サッカーJ2FC 岐阜のラモス瑠偉監督を講師に招いたサッカー教室を土岐市総合公園で開催

- 第6回ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会第3位（25郡市参加）
- 平成27年 ボウリング協会加盟  
第7回ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会第3位（25郡市参加）
- 平成28年 東濃総合体育大会 優勝  
第8回ぎふ清流郡市対抗駅伝競走大会優勝（25郡市参加）
- 平成29年 東濃総合体育大会 優勝



- 平成30年 東濃総合体育大会 優勝  
土岐市弓道場の設置
- 令和元年 日本マスターズ2019ぎふ清流大会を岐阜県にて開催し、土岐市総合公園にてソフトテニス競技を瑞浪市と共同で実施  
東濃総合体育大会 優勝
- 令和2年 「土岐市体育協会」から「土岐市スポーツ協会」へ名称変更  
コロナウイルスの蔓延により市民スポーツ大会中止
- 令和3年 コロナウイルスの蔓延により市民スポーツ大会中止
- 令和5年 パワーリフティング協会加盟  
東濃総合スポーツ大会 優勝  
神谷そら選手が、国内最高峰の大会、日本女子プロ選手権コニカミノルタ杯にて優勝
- 令和7年 市制70周年を記念した TOKI スポーツフェスティバルを開催



プロ野球選手20名を招いて「宝くじドリームベースボール」として、野球教室、プロ野球選手とのドリームゲームを土岐市総合公園で開催



ねんりんピック岐阜2025 ボウリング種目の開催



工藤由佳選手が、国内ボウラーの最高峰の個人戦「NHK杯 全日本選抜ボウリング選手権大会」にて優勝

現在40団体（競技協会30・スポーツ少年団1・中学校体育連盟1・町体協・スポーツ協会8）



## 陸上競技協会



会 長

松 原 晃 正

市スポーツ協会が昭和30年に発足して70周年を迎え、協会発展の為に尽力をされて来ました歴代役員の先輩諸氏及び関係者のご功績に感謝と御礼申し上げます。

陸上競技協会も同時期に発足し、スポーツ協会から多大なご支援とご指導を賜り、70周年を迎える事が出来ました、改めて感謝と御礼を申し上げます。

陸上競技協会は加盟する各種目協会と共に、スポーツの発展と普及に努め、元気な活力のある土岐市の一役を担っていると思っています。

今後ともスポーツの発展に「いつまでも健康で、生涯スポーツを愛し、みんなで楽しく、親睦と融和で、走ろう、跳ぼう、投げよう」のスローガンの下活動してまいりますので、ご支援ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



### ●陸上競技協会役員（令和7年10月現在）

|         |             |
|---------|-------------|
| 会 長     | 松原 晃正       |
| 副 会 長   | 加藤 臣典、厚見 徳和 |
| 理 事 長   | 澤田 和彦       |
| 副 理 事 長 | 楓 順吾、長谷川 悟  |
|         | 竹内 茂寿       |
| 総務委員長   | 松野 弘明       |
| 競技委員長   | 村上 寿雄       |
| 指導委員長   | 加藤 昭久       |
| 選手会会長   | 中尾 元        |
| 選手会副会長  | 奥村 啓之       |
| 事 務 局 長 | 加藤 貴史       |
| 事務局次長   | 水野 美弘       |
| 幹 事     | 斉木 計利、今井 貴志 |
| 顧 問     | 神戸 庫次、小池 良司 |
|         | 砂場 研司       |
| 参 与     | 酒井 洋        |

### ●協会のあゆみ

昭和30年（1955年）の市制施行時に、土岐市体育協会の創立に尽力した関係者によって、陸上競技協会が設立され、市体育協会の加盟第1号の種目協会として今日に至っている。陸上競技協会の役員の中には市体育協会の役員を歴任し、陸上競技の普及・発展のみならずスポーツ全般に尽力してきた。

### 国民体育大会に出場

加藤喜代美が昭和36年以降に青年の部・一般の部に12年連続出場、100mで8年連続入賞し、第2位に3回入賞。

砂場研司が走高跳（青年の部）で第3位と埼玉、福井の国体において2連勝。

山内 浩（土岐高教）がやり投（教員の部）で優勝と第3位に入賞。

部谷正巳（土岐商教）が100m（教員の部）で第3位に2回と第6位に入賞。

小林昭夫（西陵中教）は1500m（教員の部）で第3位と第4位に入賞。

藤野和子（土岐商教）が100m（教員の部）で第6位に入賞。

平成になってからは高校生、中学生が県代表として出場し活躍した。

永田繁生（大垣商・土岐津中）が110mJHで第8位に入賞。

小嶋珠美（土岐津中）が800mで第7位に入賞。

水野督生（土岐北高・肥田中）が走幅跳で第8位に入賞。

本田清彦（市岐阜商・駄知中）が砲丸投で第3位に入賞。

その他、多くの土岐市の選手が毎年県代表として国体に出場している。

### 県内開催の駅伝大会の優勝

昭和43年度（1968年）、44年度（1969年）には中・長距離の県内トップクラスの山田 倬・小林昭夫・松原晃正・中島善二・三沢 誠・中島明敏等の土岐市駅伝チームは県内開催の5大会で優勝する素晴らしい快挙を成し遂げている。

### ぎふ清流都市対抗駅伝競走大会

平成21年（2009年）から始まった大会は、第1回、第2回は地区対抗として実施され、第3回大会から郡市対抗となり、土岐市チームは不測の事態に陥りオープン参加となったが 監督・コーチに 羽柴卓也・中沢正仁・吉川弥里・長谷川 悟による優れた指導により、第4回大会で第3位、第5回大会は第4位、第6回大会では第3位、第7回大会も第3位と躍進し、第8回大会では第1区から圧倒的な強さで念願の初優勝をしているが、以後低迷しているのが現状であり、現在懸命に選手強化に取り組んでいる。

### 東濃スポーツ大会

昭和45年（1970年）に土岐市泉町定林寺に新設された県内2番目の公認陸上競技場が完成したのを機に東濃体育協会が設立され、第1回の東濃体育大会が始まった。

大会開催の54回中で、総合優勝回数25回、第2位には14回、第3位4回と東濃地区では他市を圧倒する成績を残している。

### 県下都市体育大会（平成16年（2004年）以降 中止）

昭和27年から始まった大会であり、土岐市は昭和30年の市制施行後、第4回大会からの参加となり、総合優勝1回、第2位に8回、第3位には6回、第4位は1回、第5位は2回、第6位は2回 など、選手・役員が一丸となって練習に励み、取り組んできた成果であります。

### 県体育大会

昭和24年から始まった大会で土・日の2日間岐阜で開催され、県内最大のスポーツ大会であった。土岐市は第7回から参加し、昭和39年に初優勝、昭和44年には2度目の総合優勝。優勝2回、第2位1回、第3位2回、第4位5回など毎回多数の個人種目優勝者や上位入賞者が出て、素晴らしい成績を残している。

### 県民スポーツ大会

昭和58年に県体育大会が改編され、地区持ち回りで開催されるようになった後も毎回種目優勝者、上位入賞者によって、総合優勝2回、第2位2回、第3位4回、第5位4回、第6位1回、第





7位1回、第8位1回など毎回総合入賞を果たして来た。

これらの結果には、全ての協会役員、選手が土岐市の代表として一致団結し、大会に挑む気持ちの表れと思っている。

### **市一周駅伝競走大会**

昭和30年（1955年）市制施行を記念して、市主催の冬の一大スポーツ行事として全市民の声援を受け、幾多の困難を乗り越え開催が継続され、多くの長距離選手を出してきたが、令和7年（2025年）3月 第60回大会で終了となったことは、諸般の事情があったとはいえ、大会運営を中心的に関わってきた関係者としては、中止は非常に淋しい限りであり、駅伝中止は多くの市民からも残念だと声が上がっている。

### **市民ロードレース大会**

昭和50年（1975年）に市一周駅伝大会が中止となったことにより、市制20周年記念行事として毎年実施することで開催されることになった、開催コースはいろいろ変更しながら50年間継続されてきた、参加人数も最盛期の半分位の人数となったが、少子化の影響も多分にあると思われるが、もっと多くの人に参加して欲しい。

## **●今後の課題・展望**

活動センター陸上競技場の走路の損傷が激しく、整備が近々の課題であると思うが、市において大至急改修を要望いたします。

陸上競技協会は陸上競技教室を実施し、ジュニアの指導に邁進し、陸上競技を継続、競技力を高め、県を代表する優秀な選手の育成に尽力している。



## 軟式野球連盟



会 長

柴 田 知 明

市スポーツ協会70周年を迎えられました事心よりお祝い申し上げます。

長きにわたり築かれてきた歴史と地域の皆さまの努力が今日の発展へとつながっておりますことに深い敬意を表します。

野球は多くの人に親しまれ、世代を超えて人と人をつなぐ事ができるスポーツであります。

その野球を末永く発展させる為、今後も協会と共に協力し、野球を愛する全ての方々と力をあわせ、役員一同、より一層頑張ってお参りますので皆様の温かいご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

協会のますますの発展と市民の皆さまのご健勝を心より祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。



### ●現在の役員

会 長 柴田 知明  
理 事 長 奥村 信彦  
副理事長 酒井 充裕  
副理事長 櫻井 建太

令和4年 第19回中学一年生大会

優勝 泉中野球クラブ

令和5年 第42回全日本学童軟式野球大会

優勝 土岐津野球クラブ

令和6年 第40回全日本少年軟式野球大会

3位 泉中野球クラブ

※第13回東日本少年軟式野球大会（全国大会）

3位 泉中野球クラブ

#### 【一般】

平成30年 高松宮賜杯第61回全日本軟式野球大会

優勝 マルエス産業

令和3年 第42回東日本2部軟式野球大会

優勝 ドリームス

#### 【還暦】

平成27年第24回岐阜県還暦軟式野球大会において、初出場であった土岐サーティーズが県優勝の栄冠を勝ち取り、全国大会出場を果たしました。

土岐サーティーズはその後、幾度も県優勝の栄冠を勝ち取り、今や全国大会常連のチームとなっている。

上記の様に各世代の選手が好成績をおさめ充実した10年間であった。

### ●協会の10年間のあゆみ

野球連盟の10年間は学童（小学生）、少年（中学生）が好成績をあげた10年間であった。

平成27年、令和3年に土岐市において東濃学童軟式野球大会を開催し、技術向上に努め、中学へ上がった後でも受け入れるチームがあり、その後の好成績へと繋がった。

チームの受け入れだけでなく審判技術の向上の為、他支部への派遣等で審判技術の情報交換や交流等を積極的に行い、一級審判員を多く輩出する等野球ができる環境を整えた10年であった。

その成果もあり主な県大会成績は

#### 【学童・少年】

平成27年 第34回全日本学童軟式野球大会

優勝 妻木クラブ

平成31年 第38回全日本学童軟式野球大会

優勝 妻木クラブ

令和2年 第39回全日本学童軟式野球大会

優勝 泉野球クラブ

## ●今後の課題・展望

平成27年をピークに令和6年までの10年間で  
野球人口の減少が顕著に表れています。

### 【平成27年登録チーム数】

|         |   |
|---------|---|
| 一般B級    | 6 |
| 一般C級    | 6 |
| 少年（中学生） | 6 |
| 学童（小学生） | 6 |

### 【令和6年度登録チーム数】

|         |   |
|---------|---|
| 一般B級    | 3 |
| 一般C級    | 2 |
| 少年（中学生） | 0 |
| 学童（小学生） | 3 |

上記の様に半分以上の減少となっています。

審判員の減少（高齢化）も顕著に表れ、ここ  
10年間で大幅な減員となっています。

野球連盟として受け皿となるチーム創設、指導  
者育成、審判員の育成に努め、大人はもちろん、  
子供たちに野球ができる環境づくりをすることが  
課題である。



# ソフトテニス連盟



会 長

水 野 和 彦

ソフトテニスは1884年（明治17年）に始まり141年（2025年現在）の歴史を誇る日本で生まれ育った大衆スポーツです。

ゴムボールを使用する日本独特のテニス（軟式庭球）として考案されました。

1992年（平成4年）には100年以上続いた名称が「軟式庭球」から「ソフトテニス」に改められました。

現在では、生涯スポーツとしてジュニアからシニアまで老若男女問わず幅広い年齢層が日々練習に、試合に、楽しみながら愛好しております。



## ●現在の役員

|       |             |
|-------|-------------|
| 顧 問   | 中村 康典       |
| 理 事   | 西尾 広幸       |
| 理 事   | 神崎 歩        |
| 会 長   | 水野 和彦、志水 克成 |
| 監 査   | 松本 将人       |
| 副 会 長 | 林 雅弘、今井 浩   |
|       | 栗山 英治       |
| 理 事 長 | 林 聖吾、酒井 英吉  |
| 会 計   | 工藤 達之       |
| 副理事長  | 池田 昌隆、工藤 友美 |
| 事 務 局 | 林 聖吾、池田 邦恵  |
| 市体協理事 | 林 聖吾        |

## ●協会の10年間のあゆみ

（平成27年から令和6年までの10年間のあゆみ）

### 【主な戦績（団体戦）】

（県民スポーツ大会）

平成30年 総合5位

令和2年 総合5位

令和4年 総合4位

令和6年 総合3位

（東濃スポーツ大会）

平成30年 総合1位

令和元年 総合2位

令和2年 総合2位

令和4年 総合2位

令和5年 総合5位

令和6年 総合2位



土岐市ソフトテニス連盟納会大会





土岐ジュニアの練習（敷島テニスコート）



全日本レディースソフトテニス大会（団体戦）

### 〈全国大会団体戦県代表〉

#### 【平成27年】

- ・全国健康福祉祭（ねんりんピック）山口大会  
男子 60歳以上の部 井澤 公司
- ・第37回全日本レディースソフトテニス大会  
すみれの部 山口 春香  
ばらの部 山口美津子

#### 【平成28年】

- ・第38回全日本レディースソフトテニス大会  
ばらの部 工藤 友美

#### 【平成29年】

- ・第39回全日本レディースソフトテニス大会  
すみれの部 山口 春香、山口 真奈  
ばらの部 日比野美砂希  
ゆりの部 山口美津子

#### 【平成30年】

- ・全国健康福祉祭（ねんりんピック）富山大会  
男子 60歳以上の部 井澤 公司
- ・2019日本スポーツマスターズ大会  
男子 45歳以上の部 井澤 公司
- ・第40回全日本レディースソフトテニス大会  
ゆりの部 工藤 友美

#### 【令和元年】

- ・第41回全日本レディースソフトテニス大会  
すみれの部 山口 春香、山口 真奈

#### 【令和4年】

- ・第44回全日本レディースソフトテニス大会  
ばらの部 林 志帆  
ゆりの部 虎澤 美香、工藤 友美

### 【令和5年】

- ・全国健康福祉祭（ねんりんピック）愛媛大会  
男子 60歳以上の部  
工藤 達之、小栗 裕之
- ・第3回全日本シニアレディース大会  
あやめの部 山口美津子

## ●今後の課題・展望

ソフトテニスの現状を改善する為の課題として「環境面の充実」「指導者の育成」「普及活動」の3つがあげられる。

「環境面の充実」については、社会人になるとソフトテニスができる環境がなく、多くの人がソフトテニスを続けやすい環境を作り出すことが必要であると言える。

「指導者の育成」については、教員などの指導者が厳しく練習に取り組むだけでなく、ソフトテニスを楽しみ感じられる指導が必要である。多くの生徒が生涯スポーツでもあるソフトテニスに長く取り組むように動機付ける必要がある。

「普及活動」については、国内の競技人口が減少していることから、国内の普及活動が必要であり、小・中・高校生に人気のある競技ではなく、大学生、社会人、高齢者を含めたすべての年齢層において、メジャーな競技にして行かなければならないと考える。



## 卓球協会



会 長

小 関 篤 司

土岐市卓球協会は土岐市体育協会設立と同時に加盟発足しました。私は2025年から会長の職を務めさせて頂いています。これまで戦後の混乱期から平成・令和と激動の時代のなか、これまで長年において協会運営にご尽力を頂いた歴代役員の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

過去においては、岐阜県高校選手権・東海学生選手権・中部日本選手権等に優勝、秋田国体にも出場をした選手を輩出。団体においても都市体育大会準優勝・岐阜県体育大会に男子・女子（2回）ともに優勝するなど卓球協会に活気をもたらししてきました。

最近では少子化によるクラブ数、スポーツ人口の減少、部活の地域移行という大変な変化の時期ということもあいまって、競技に参加するため選手を集めるのに四苦八苦する状況が続いております。いかに選手を集め、育てていくかが今後の大きな課題であると思います。そういったなかで、第43回全国ホープス卓球大会に泉小学校の土井見桜さん、土井見月さんが出場、第44回全日本クラブ卓球選手権に土岐津中学校の土屋歩実さん、泉小学校の土井見桜さんが出場するなど優秀な選手が育ってきたことは、卓球協会にとって嬉しいニュースとなっています。

「卓球をやりたい人」が「いつでも自由」にピンポンを楽しめる施設を確保するよう全員一致団結して卓球協会発展のために頑張ってまいります。今後とも土岐市スポーツ協会共々、卓球協会の発展のために温かいご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



左：土井見桜さん、中：土井見月さん、右：土屋歩実さん



# バレーボール協会



会 長

瀬 瀬 茂

70周年おめでとうございます。土岐市バレーボール協会は、スポーツ協会と同じく創立70周年という節目を迎えることができました。これは、長きにわたり私たちのバレーボール活動を支え続けてくださった選手の皆様、関係者の方々、そして地域の皆様のお力添えの賜物であり、深く感謝を申し上げます。

現代社会においては少子化や競技人口の減少といった課題が顕在化しており、地域におけるスポーツ活動の在り方が問われる時代となっています。そのような中で、バレーボールを愛する皆様とともに活動を継続し、特に家庭婦人バレーボールが今も息長く受け継がれていることは、地域に根ざしたスポーツ文化の礎であり、誇りでもあります。この取り組みが、世代を超えて地域の絆を深め、人々の健康と活力を育む場を提供できていることを大変うれしく思います。

これからの私たち協会には、バレーボールの新しい魅力を発信するとともに、次世代を担う若者たちや地域住民とのつながりをさらに強化し、持続可能な活動を築いていく使命がございます。そのためにも、これまでの70年という歴史を糧にし、未来に向けて一步一步進んでいきたいと考えております。

\*\*\*\*\*

## ●現在の役員

|     |                                                                                                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 長 | 瀬瀬 茂                                                                                            |
| 副会長 | 林 初美                                                                                            |
| 顧問  | 鈴木 実光                                                                                           |
| 理事長 | 榎木 計正                                                                                           |
| 理 事 | 新海 正和、和田 圭介<br>外山 秀行、岩井 恵里<br>本田 靖子、度会美恵子<br>志水 靖子、加藤 慎司<br>佐伯 裕介、野村浩太郎<br>長江 和紀、大山 裕二<br>梶原 一輝 |
| 事務局 | 伊藤 智治                                                                                           |

## ●協会の10年間のあゆみ

(平成27年から令和6年までの10年間のあゆみ)

2016年リオデジャネイロオリンピックを境に、バレーボール人気の低迷、競技人口の減少が顕著になっており、とりわけ小学生バレー人口の減少や中学校バレーボール部の廃部が続いております。特に、中学校単位の女子クラブが令和7年9月現在ゼロ、男子は2校とクラブチーム1つとなっておりますが、市内中学生バレーボール大会を毎年実施してきております。

現在、中学校部活動の地域移行化がされており、クラブチームの再編が進んでいる状況で、今後も小中学校のバレーボールの普及に努める必要があると考えております。



土岐市ママさんバレーリーグ戦

一方ママさんバレーは、チームの統廃合、世代交代などを繰り返しながらも、市内リーグ戦や、親睦大会を毎年盛大に継続して実施しております。

多くのプレーヤーの活躍や、地域や年代を超えた、新たな枠組みでの取組みも進んでおり、今後もさらなる発展を期待しているところです。



土岐市ママさんバレーリーグ戦

## ●今後の課題・展望

課題は、競技人口の増大を図ることに加えて、小中学生の指導普及であり、地域移行化に対する対応などが必要であります。

指導者・後継者育成など課題は、山積しておりますが、役員、指導者、選手が一緒になってバレーボールの魅力発信や、今後も協会をあげて生涯ス

ポーツとしての普及促進を図り続けていきたいと考えております。





## 剣道連盟



会 長

塚 本 六 美

土岐市スポーツ協会70周年、誠におめでとうございます。剣道連盟も発足当時より協会に加わり今日に至っております。

昨今の少子化による競技人口の減少は剣道も例外ではありません。

そんな中でも剣道は高齢者でも続けられる武道であります。

若者から高齢者まで一緒に稽古できるこの剣道という文化を伝えてまいりたいと思っております。



### ●令和7年度 土岐市剣道連盟役員

|     |             |
|-----|-------------|
| 会 長 | 塚本 六美       |
| 副会長 | 土本 栄一、木股 英明 |
| 理事長 | 塚本 正寿       |
| 事務局 | 西村 泰宏       |

そして10年後の令和7年（2025年）の夏、東濃スポーツ大会へと名前を変えた同大会へ、同じく土岐市代表として男女8名が参加し、男子優勝、女子準優勝という成績を収め、10年ぶりの総合優勝（多治見市と同率）を勝ち取ることができました。

### ●10年間のあゆみ

10年前の平成28年（2016年）の夏、東濃総合体育大会に参加した男女8名の土岐市代表選手が奮闘し、見事総合優勝を勝ち取りました。

当連盟はこの10年間、地域の皆様、各種関係者の皆様に支えられて活動を続けてまいりました。そのご支援に応えるべく、少年少女剣士の育成、大会や錬成会等の開催を通じて青少年の育成に努めるとともに、地域に根差した「剣道」の普





及や、生涯剣道を続けられる環境づくりに取り組んでまいりました。前述の大会結果は、その成果であると確信しております。

剣道の理念に「剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である。」とあります。今後も「剣道を通して人を作る」という精神を大切に、さらなる研鑽と地域貢献に努めてまいります。

## ●今後の課題・展望

当連盟のみならず、剣道界全体で、部活動の地域移行や剣道人口の減少など、多くの課題に直面しております。従来の方方法にとどまらず、新たなアプローチで剣道の魅力を発信し、SNSなどを活用して新世代に合わせた方法で、興味・関心を引き出すことが求められます。

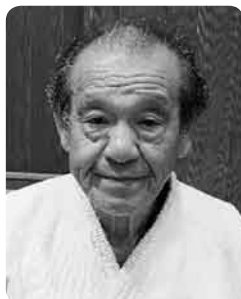
これにより、剣道人口を少しでも増やすとともに、現在の少年少女剣士が楽しく続けられる環境やコミュニティを整える必要があります。

土岐市剣道連盟は地域の皆様とともに、次世代へ伝統をつなぐため、新たなステップへ挑戦してまいります。





## 柔道協会



会 長

加 藤 廣 行

土岐市スポーツ協会設立70周年を迎えるにあたり心からお喜び申し上げます。  
今後80、100周年と市スポーツ協会の発展を願いあいさつとさせていただきます。



### ●歴代会長

今井 国男（昭和30年～35年、39年～41年）  
船橋 護之（昭和35年～36年、42年～44年）  
水野 俊三（昭和36年～38年）  
工藤 英美（昭和38年～39年）  
吉本 菊夫（昭和41年～42年）  
水野 金年（昭和44年～48年）  
瀬瀬 清信（昭和48年～57年）  
斉木 行夫（昭和57年～平成6年）  
土本 末春（平成6年～9年）  
加藤 廣行（平成9年～現在）

### ●現役員

会 長 加藤 廣行  
副 会 長 高塚 正敏、加藤 磨隆  
藤井 義忠  
理 事 長 高橋 暢宏  
副理事長 曾我 慎二、酒井 貴康

### ●柔道協会設立からのあゆみ

戦後まもなく現在の泉、土岐津、肥田、下石、妻木、駄知の柔道愛好家により土岐津武道館が発足し、昭和29年に土岐津武道館の関係者の協力を得て道場が建設されました。昭和30年、市制が敷かれると同時に土岐津武道館が土岐市柔道協会として同年8月に発足しました。協会が発足して数年は県下で好成績を残したが、次第に道場に集まる人数が減り、各大会出場者を集めるのに精一杯といった時が続いた。昭和48年、青少年の心身とも健全な育成、及び一般の柔道不振対策として柔道教室を発足させた。さらにより広く柔道の普及を図るため昭和53年に妻木町の勤労青少年ホーム（現生涯学習館）にて2つ目の柔道教室、南土岐道場を開設した。また、土岐市少年柔道錬成大会を東濃地区主体に県内外から少年柔道団体を招待し毎年開催している、令和元年43回大会を最後にコロナの為に休止となっているが、今



※東濃スポーツ大会、県民スポーツ大会

後再開したい。現在は2つの道場を中心に競技として柔道の技、技術を教えるだけでなく、礼儀やマナー、人間形成を主体に活動し、生涯柔道を続けることを願っています。

## ●今後の課題

近年は人口減少、少子化もあってスポーツ人口が減る中、柔道も競技者が減少している。また、大学進学後、土岐市から離れてしまう、学校卒業と同時にやめてしまう事もあり地元で柔道を親しむことがありません。今後、大会選手、指導者の育成確保が柔道協会の課題です。

もう一つ、土岐市武道館も70年が過ぎ施設の整備も課題です。



※市民スポーツ大会



## 弓道協会



会 長

虎 澤 敏 彦

土岐市弓道協会は今年度創立70周年を迎え、60余名の会員が射法、射技の向上を目指し日夜練習に励んでおります。

弓道は他の競技と多少異なり、「人」ではなく「的」を相手にする武道、スポーツです。そこには一人でも楽しむことができる世界が広がっています。

素朴で親しみやすいので、少年少女からご年配の方まで、年齢や男女に制限はありません。それぞれが自分の体力に応じた強さの弓を使い練習を始めることができます。

晴雨に関わらず練習時間も道場の環境に合わせて調整することが可能です。

「的」は静止して動きません。その「的」に当たるか外れるかだけでなく、射行（弓を射ること）として成功か失敗か、一本一本を味わいながら楽しめるので興味は深まっていくのです。

### ●現在の役員

|     |       |
|-----|-------|
| 会 長 | 虎澤 敏彦 |
| 副会長 | 鈴木 尚也 |
| 副会長 | 窪田 知美 |
| 理事長 | 林 義仁  |

### ●協会の10年のあゆみ

協会の10年のあゆみの中で、新道場建設が一番の大きな行事だと思います。

下石町内にある下石保育園・山神保育園・下石幼稚園の3園を統合し、新たに幼保連携型認定こども園を建設することに伴い、弓道場移転を余儀なくされました。

その間、土岐市泉町、久尻神社玄武館を練習の場としてお借りし、2019年（平成31年3月10日）に新道場開き、同年6月に道場新築披露射会（参加者約100名）を行い、関係各者にお披露目をしました。

その後本日まで約6年間、新しい会員も増え、旧弓道場を知らない会員も増えました。

これからも協会行事、各種大会に参加しながら、弓道の普及と弓道人口を増やす努力をしていきたいと思います。





## 過去10年東濃大会・県大会成績

| 大会名  | 年度     | 区分   | 成績   | 区分   | 成績   | 区分 | 成績   |
|------|--------|------|------|------|------|----|------|
| 東濃大会 | 平成27年  | 一般男子 | 優勝   | 一般女子 | 3 位  | 総合 | 優勝   |
|      | 平成28年  |      | 優勝   |      | 未入賞  |    | 2 位  |
|      | 平成29年  |      | 2 位  |      | 5 位  |    | 3 位  |
|      | 平成30年  |      | 優勝   |      | 3 位  |    | 2 位  |
|      | 令和元年   |      | 優勝   |      | 3 位  |    | 2 位  |
|      | 令和 2 年 |      | 2 位  |      | 3 位  |    | 3 位  |
|      | 令和3年   |      | 優勝   |      | 2 位  |    | 優勝   |
|      | 令和4年   |      | 4 位  |      | 2 位  |    | 3 位  |
|      | 令和5年   |      | 3 位  |      | 優勝   |    | 優勝   |
|      | 令和6年   |      | 2 位  |      | 2 位  |    | 2 位  |
| 県大会  | 平成27年  | 一般男子 | 3 位  | 一般女子 | 4 位  | 総合 | 4 位  |
|      | 平成28年  |      | 2 位  |      | 6 位  |    | 2 位  |
|      | 平成29年  |      | 優勝   |      | 未入賞  |    | 2 位  |
|      | 平成30年  |      | 未入賞  |      | 未入賞  |    | 未入賞  |
|      | 令和元年   |      | 7 位  |      | 8 位  |    | 未入賞  |
|      | 令和 2 年 |      | 7 位  |      | 未入賞  |    | 未入賞  |
|      | 令和 3 年 |      | 大会中止 |      | 大会中止 |    | 大会中止 |
|      | 令和 4 年 |      | 3 位  |      | 8 位  |    | 5 位  |
|      | 令和 5 年 |      | 5 位  |      | 未入賞  |    | 7 位  |
|      | 令和 6 年 |      | 4 位  |      | 6 位  |    | 4 位  |

## ●今後の課題・展望

現在協会に所属している会員の技術の向上、精神の向上だけでなく、弓道教室等を通して弓道の魅力をより多くの人に伝え、弓道の伝統を次世代に継承していくことが使命だと思います。

また、一般会員の年齢構成からみると約65%が50歳以上を占める現状からも若年層の会員を増やすことが今後の当協会を支えることにつながると思います。

さまざまな行事や交流等を通して、若年層の会員を増やす努力をするとともに生涯にわたって弓道を楽しめる環境の整備をしていきたいと思います。



# ウェイトリフティング協会



会 長  
三 好 信 司

スポーツ協会創立70周年・お祝い申し上げます。また関係先輩諸氏に敬意を表します。

当協会としても国民体育大会や全国高校総合体育大会を始め、諸大会が、皆様の御理解とご協力のもと開催できたこと、また現在も「市技」として愛されて、今に至ったことに感謝いたします。

これからもスポーツ協会の一層の発展とウェイトリフティング競技が皆様に普及し愛好されることを願っています。

## ●現在の役員

|     |       |
|-----|-------|
| 会 長 | 三好 信司 |
| 副会長 | 戸松 伸隆 |
| 理事長 | 加藤 雄介 |
| 副理事 | 水野 博康 |

## ●協会の10年間のあゆみ

(平成27年から令和6年までの10年間のあゆみ)

2014年岐阜清流国体がセラトピア土岐で開催されて以降、選手の成長と活躍が相次ぎ、数々の好成績を収めてまいりました。

2021年全国高等学校選抜大会では女子選手が準優勝を果たしました。

さらに2022年には高校総体で優勝者が誕生し、県勢としては40年ぶり、土岐市からは実に50年ぶりとなる快挙を成し遂げました。

2023年かごしま国体においても、2名の選手



が優勝並びに入賞を果たすなど、着実に成果を重ねております。

また県民スポーツ大会には毎年多数の選手が参加し、2017年に団体優勝、2025年は団体準優勝を収めています。

今後も市技の名に恥じぬよう、協会員一同、さらなる普及と振興に努めてまいります。

## ●今後の課題・展望

今後も中高生を中心として、オリンピックを目標に土岐市ウェイトリフティング場にて練習を重ねます。





土岐市スポーツ協会設立70周年を心からお喜び申し上げます。

クレー射撃はおよそ時速100キロで飛翔していく直径11センチのクレー（お皿）を散弾銃を用いて瞬間的に打ち落とすスピード感とスリルに満ちたスポーツです。冷静な判断、集中力、技術を常に発揮できなければスコアが維持されない難しさも魅力の一つです。

また銃器を使用する特殊な競技でもあるため、所持を認められた私ども会員は何よりも安全且つ確実な操作を第一に日々練習に励んでおります。資格は必要となりますが、20代選手と70代、80代選手が同じ射台に立ち競えるのもこの競技の魅力かと思えます。

会員数は全盛期と比較すれば減少してはいますが、市民スポーツ大会、または東濃地域全体でも交流を深めながら楽しんでいます。

\*\*\*\*\*

## ●現在の役員

会 長    小栗 信二  
副会長    安藤    浩  
理事長    水野 寿昭

## ●岐阜県民スポーツ大会における過去の成績

|         |         |
|---------|---------|
| 第 8 回大会 | 総合 2 位  |
| 第 9 回大会 | 総合 3 位  |
| 第10回大会  | 総合 3 位  |
| 第11回大会  | 総合 4 位  |
| 第12回大会  | 総合 2 位  |
| 第13回大会  | コロナの為中止 |
| 第14回大会  | 総合優勝    |
| 第15回大会  | 総合 3 位  |
| 第16回大会  | 総合 4 位  |
| 第17回大会  | 総合 4 位  |

## ●今後の課題・展望

ここ数年、岐阜県のクレー射撃のレベルは全国で見ても上位に入ります。

その様な優秀な選手が多数参加する県民スポーツ大会においても毎回4位以内には入賞する強豪と呼ばれているのが土岐市クレー射撃協会チームとなります。

資格を持った者しか参加が出来ない難しさが課題とはなっていますが、先輩方々が築いてくれた歴史、そして何よりも会員同士の親睦を大切にしながら若手選手の育成等を図り80周年、90周年そして100周年と受け継いで行けるクレー射撃協会でありたいと思います。



## 空手道協会



会 長

前 村 清

土岐市の空手道は、昭和28年（1953年）に土岐津町の個人倉庫にて活動がはじまりました。その後、昭和34年3月（1959年）に同じく土岐津町の個人地に新築道場をオープンし、多くの一般成人が稽古に励んでおりました。昭和34年4月には、土岐市体育協会へ正式加盟し現在に至っております。現在、市内の公共施設において1週間に2回小中学生・一般男女の会員にて定期練習を行っています。



### ●現在の役員

|     |    |    |
|-----|----|----|
| 会 長 | 前村 | 清  |
| 副会長 | 長江 | 公一 |
| 副会長 | 楓  | 基靖 |
| 理事長 | 渡邊 | 幸一 |

### ●協会の10年間のあゆみ

平成27年4月10日泉西小学校に於いて第61回土岐市民総合体育大会に45人の参加。第62回45人・第63回34人・第64回49人・第65回61人の参加。第66回・第67回は、新型コロナウイルス

の為に中止。第68回新型コロナウイルスの影響のため、不参加。第69回48人・第70回34人参加。

### ●今後の課題・展望

現指導者は高齢化しており、若年の指導者育成が課題である。また、大会の開催にあたっては、審判員の減少が顕著であります。過去には、大会出場希望選手が多くて制限をした時代もありました。近年は、スポーツ団体である会員の中には競技を好まない傾向にあります。少子高齢化の現状下であるが、生涯スポーツとして日々活動を推進していくものである。







# アーチェリー協会



会 長

杉 浦 節 夫

土岐市スポーツ協会設立70周年おめでとうございます。

土岐市アーチェリー協会は昭和48年に土岐市体育協会に加盟し、本年度52年となりました。

近年、アーチェリーは、日本選手がオリンピックにおいて優秀メダルを獲得できるようになり注目され、一度はやってみたいスポーツ競技と言われています。

アーチェリー協会設立当時より妻木町にアーチェリー場があったお陰で盛んに練習が行われ、東濃大会および岐阜県大会において、かなりの好成績を上げてきました。

現在では活動センターにアーチェリー場が整備され、毎年 MAG ロード沿線都市親善アーチェリー大会や初心者教室などが開催されています。スポーツフェスティバルではアーチェリー体験にたいへん多くの参加者がありました。

アーチェリーは自分の体力に合わせて弓の強さや種類を選べば、年齢、性別に関わらず誰でも楽しめるスポーツです。小中学生から一般の方々まで受け付けていますので、ぜひご加入をお待ちしております。

\*\*\*\*\*

## ●現在の役員

|       |                                          |
|-------|------------------------------------------|
| 会 長   | 杉浦 節夫（六代目）                               |
| 理 事 長 | 加藤 和徳                                    |
| 副理事長  | 大野 功司                                    |
| 会 計   | 加藤 和徳                                    |
| 理 事   | 水野 洋一、内田 正義<br>桜井 泰伸、尾関 敏廣<br>西村 功、鈴木 義高 |



第2回 MAG ロード沿線都市親善アーチェリー大会

## ●協会の10年間のあゆみ

### 【平成27年度】

第7回県民スポーツ大会

第2位 土岐市（詳細不明）

### 【平成28年度】

第8回県民スポーツ大会

第2位 土岐市（詳細不明）

### 【平成29年度】

|                |     |      |
|----------------|-----|------|
| 第9回県民スポーツ大会    | 第2位 | 土岐市  |
| リカーブ部門一般男子Cクラス | 第1位 | 加藤和徳 |
|                | 第5位 | 伊藤義文 |
| リカーブ部門一般男子Eクラス | 第1位 | 水野洋一 |
|                | 第5位 | 小川恵三 |
| リカーブ部門一般男子Fクラス | 第1位 | 杉浦節夫 |
| コンパウンド部門男女     | 第1位 | 大野功司 |

### 【平成30年度】

|                |     |      |
|----------------|-----|------|
| 第10回県民スポーツ大会   | 第2位 | 土岐市  |
| リカーブ部門一般男子Cクラス | 第1位 | 加藤和徳 |
| リカーブ部門一般男子Fクラス | 第1位 | 杉浦節夫 |
| コンパウンド部門男女     | 第1位 | 大野功司 |
|                | 第4位 | 尾関敏廣 |
|                | 第7位 | 伊藤義文 |

### 【令和元年度】

|                |     |      |
|----------------|-----|------|
| 第11回県民スポーツ大会   | 第4位 | 土岐市  |
| リカーブ部門一般男子Cクラス | 第3位 | 加藤和徳 |
| リカーブ部門一般男子Fクラス | 第2位 | 杉浦節夫 |
|                | 第5位 | 小川恵三 |

コンパウンド部門男女 第5位 大野功司  
第7位 尾関敏廣

### 【令和2年度】

第12回県民スポーツ大会 第2位 土岐市  
リカーブ部門一般男子Cクラス 第1位 加藤和徳  
リカーブ部門一般男子Fクラス 第1位 杉浦節夫  
第2位 小川恵三  
コンパウンド部門男女 第3位 大野功司  
第6位 尾関敏廣

### 【令和4年度】

第14回県民スポーツ大会  
第2位 土岐市(詳細不明)

### 【令和5年度】

第15回県民スポーツ大会 第3位 土岐市  
リカーブ部門一般男子Dクラス 第2位 加藤和徳  
第6位 笹村 直  
リカーブ部門一般男子Fクラス 第1位 杉浦節夫  
第5位 小川恵三  
コンパウンド部男女 第4位 大野功司  
第7位 伊藤義文

### 【令和6年度】

第16回県民スポーツ大会 優勝 土岐市  
リカーブ部門男女Dクラス 第3位 加藤和徳  
リカーブ部門男女Fクラス 第3位 濱本善広  
リカーブ部門男女Gクラス 第2位 杉浦節夫  
第7位 小川恵三  
コンパウンド部門男女 第1位 大野功司  
第2位 伊藤義文  
第4位 鈴木義高



第16回県民スポーツ大会 優勝 土岐市

## ●今後の課題

○本格的歴史が比較的浅い日本のアーチェリー界は、男子団体でのオリンピックメダル獲得など目覚ましい成果を上げている一方で、競技人口の増加や国内での普及、選手や指導者の多様な育成、そして情報発信の強化などが今後の課題です。将来的には、国際的な強さを維持しつつ、より多くの人々がアーチェリーに親しめる機会を増やすことで、持続的な発展を目指してゆく必要があります、その中でも小中学生選手の開拓、育成が重要視されています。

○土岐市アーチェリー場は住居地区から離れた場所にあるお陰で、安全面では申し分ありません。しかし、その一方で人目に触れにくい現状にあります。故に一般の人々にアーチェリーの魅力や楽しみ方、そして競技の面白さが伝わるような情報発信を強化する必要があります。



土岐市アーチェリー場での競技の様子

○選手が安心して競技に集中できる環境にすべく  
競技会場や行射進行を管理するための信号灯器  
およびスコア集計ソフトを整え、土岐市内外の  
方々を招集し、競技会をより魅力的に開催して  
いくことが求められています。

## ●将来の展望

### ○コンパウンドボウの普及

下の写真はコンパウンドボウという弓を引いている様子です。



弓の上下にあるばね板の先端に取り付けられたおにぎり型の滑車（カム）に弦がぐるりと仕掛けられています。

おにぎり型の滑車は輪軸の構造を成し、弦を引くとともに回転し、その途中から引く力が半減する特性を持っています。従って力の弱い人、女性、病気がちな人でも扱えますので、肉体的、精神的健康と若さを増進する意味からコンパウンドボウ

の愛好家もたいへん多いです。

弦に取りかけられた矢は、弦を引き放つとばね板の反発と滑車（カム）の高速回転によって、高速発射されます。弓の強さによっては時速360kmを超える場合もあります。

※参照 YOUTUBE「でんじろう先生のはぴエネ！ 弓の科学コンパウンドボウ」

この特性により、弓狩猟が許されているアメリカでは、ハンティングにコンパウンドボウを使う愛好家がたくさんいます。

アーチェリーワールドカップにおいてコンパウンドボウは競技種目の一つになっており、いよいよ2028年ロサンゼルスオリンピックアーチェリー競技に正式種目にする検討段階に入っています。

滑車（カム）によって国内アーチェリー人口増加に拍車がかかればウエルカムです。

### ○小中学生の開拓

毎年6月ごろにアーチェリー初心者教室を開催しておりますので、弓具のある限りですがぜひご参加ください。

土岐市アーチェリー協会において開催している競技会を、小中学生が全国大会に出場する足掛かりとなる競技会とすべく、参加選手を増員できるように取り組みます。

スポーツハラスメント防止のため、相応しい指導者の育成に取り組みます。



YOUTUBE 「土岐市アーチェリー協会の紹介」

○SNSを有効活用して、アーチェリー活動を魅力的に紹介してゆきます。

YOUTUBEにて「土岐市アーチェリー協会」で検索してください。





スポーツ協会70周年おめでとうございます。

これからもスポーツ施設の拡充をはじめ「生涯スポーツ」を推進して頂けるようお願いいたします。

\*\*\*\*\*

## ●10年間のあゆみ

東濃スポーツ大会サッカー競技では、過去10年間で7回の優勝を達成しています。

また、岐阜県県民スポーツ大会サッカー競技では、ブロック優勝1回、3位6回と、安定した成績を残しています。



### 【社会人（1種）】

#### 〈東濃社会人サッカーリーグ〉

数年前、チーム数の減少により東濃社会人サッカーリーグは休止となりましたが、当時最後まで活動していた3チームのうち2チームは土岐市登録チームでした。

現在は、岐阜県社会人サッカーリーグ2部において、土岐市登録のチームが1チーム活動しています。

今後は、社会人が年齢を重ねてもサッカーを楽しむ続けられる環境づくりを進めていく必要があります。

### 【中学生（3種）】

2015年当時、土岐市内には中学校の部活動サッカー部が2学区、学区を問わず入団できるクラブチームが1チームありました。しかし、その後クラブチームが廃部となり、サッカー部のない学校に在籍する生徒が活動の場を失う状況が生まれました。

この課題に対し、サッカー協会を中心に学校や関係機関と話し合いを重ね、サッカー部のない学区の生徒であっても、活動しているサッカー部に所属し、中体連大会などに出場できる体制を整えてきました。

その後、文部科学省による部活動地域移行の方針を受け、2つの中学校サッカー部を統合する形で「FC 土岐」を発足しました。

現在では、土岐市の地域クラブとして活発に活

動しており、市内で「サッカーを続けたい」と願う中学生の大切な受け皿となっています。

2025年度の新人戦では、チーム発足以来初となる県大会出場を果たしました。

FC 土岐はモデルケースとして、東濃地区や県内各地で地域クラブ設立のきっかけとなっており、また、FC 土岐を中心に中学校サッカー部や地域クラブ同士の新たな交流も広がっています。

## ●今後の課題・展望

この先土岐市も間違いなく少子化がすすみ、現在活動しているジュニア4クラブ、ジュニアユース1クラブの運営はますます厳しくなるでしょう。子供の数が減っていても、魅力ある活動が続けているクラブに入ってひとりでも多くサッカーを楽しんでもらいたい。







# バドミントン協会



会 長

鳥 井 健 二

土岐市スポーツ協会創立70周年にあたり、まずは先輩諸氏のご尽力に敬意を表します。

土岐市バドミントン協会は昭和35年に設立されました。当時、バドミントンは全国的にマイナーなスポーツであり、競技人口も少なく、専用の道具もほとんどありませんでした。支柱やネットがない状況では、竹やひもなどで代用していたと聞いております。その後65年が経過し、現在ではバドミントンの競技人口も増え、道具も大きく進化しました。強力なメンバーが揃い、東濃総合体育大会などの舞台で好成績を収めることもありました。

しかし、どれほどメンバーが増え、試合で良い成績を収めることがあっても、「バドミントンを楽しむ仲間を大切にする」というモットーは変えることなく、私たちはこれまで活動を続けてまいりました。技術の上手い人も初心者も、長く競技している人もこれから始める人も、若い人も年配の方も、みんながバドミントンを楽しむ仲間として笑顔が絶えない活動を今後も続けてまいります。

引き続き、皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

\*\*\*\*\*

## ●歴代役員

初代会長 宮川 鶴年(昭和35年4月～昭和39年3月)  
 二代会長 楠 敏雄(昭和39年4月～昭和63年3月)  
 三代会長 池田 健二(昭和63年4月～平成21年3月)  
 四代会長 伊藤 仁(平成21年4月～平成31年3月)  
 五代会長 鳥井 健二(平成31年4月～現在)

初代理事長 楠 敏雄(昭和35年4月～昭和39年3月)  
 二代理事長 池田 健二(昭和39年4月～昭和63年3月)  
 三代理事長 宮崎 建夫(昭和63年4月～平成8年3月)  
 四代理事長 加藤 靖也(平成9年4月～平成16年3月)  
 五代理事長 伊藤 仁(平成17年4月～平成21年3月)  
 六代理事長 井口 暢正(平成21年4月～平成31年3月)  
 七代理事長 伊藤 守道(平成31年4月～現在)

## ●現在の役員

会 長 鳥井 健二  
 副 会 長 武藤 好浩、水野 裕二  
 理 事 長 伊藤 守道  
 常任理事 熊崎 亮



協会インスタ

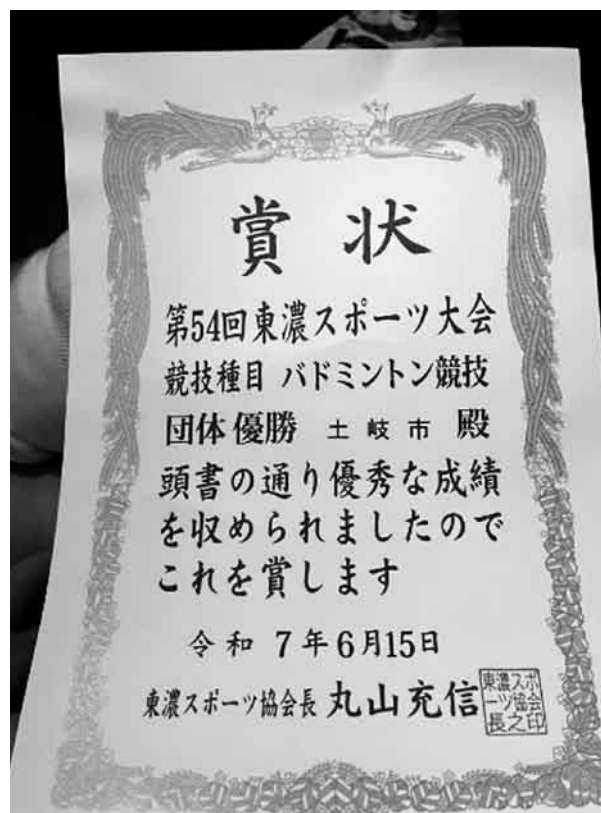
## ●活動の様子



焼津交流



東濃スポーツ大会の一幕



令和7年度 東濃スポーツ大会総合優勝



## バスケットボール協会



会 長  
土 本 浩 樹

土岐市スポーツ協会が70周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

土岐市バスケットボール協会は、地域の子供たちや、市民の皆さまと共に、スポーツを楽しむ場を育ててまいりました。バスケットボールを通じて生まれる笑顔や友情は、世代や立場を越えて私たちをつなげてくれます。

これからも、市民の皆さんが気軽に体を動かし、仲間とともに汗を流せる環境づくりに力を注いでいきたいと思っています。

スポーツの持つ力で、土岐市がさらに元気で明るいまちへと発展していくことを願っています。

\*\*\*\*\*

### ●現在の役員

会 長     土本   浩樹  
副会長   水野   豊滋、小栗   英明  
          山口   浩一  
理事長   見谷   佳紀

### ●協会の10年間のあゆみ

10年程前から土岐市バスケットボール協会の役員を増員し、若い役員に移行していくところみをしました。その中、協会傘下の土岐市ミニバスケットボールクラブは創部42年の実績になり、T-MIX バスケットボールクラブも31年を迎えることができました。

また長く続いたコロナ禍の中、試合中止や練習規制等もありましたが、継続してクラブ活動ができたのも、選手、保護者の理解もあり乗り切ることができました。

この10年では、ミニバス（小学生）とジュニア（中学生）のチーム規律、育成、強化方法を共有し、土岐市ミニバスケットボールクラブは全国大会4回の出場、ジュニアチームでは様々な大会での優勝や、県内・県外の強豪校にたくさんの選手を輩出してきました。

### ●今後の課題・展望

ここ最近では、Bリーグ（プロリーグ）の発足や八村選手・河村選手のNBAでの活躍もあり、日本全体でバスケットボールの人气が上昇しています。土岐市バスケットボール協会としても、新しくバスケットをスタートする小学生・中学生に対して、確実に成長できる環境づくりを整える努力をしています。またバスケットボールは、仲間との絆を深め、心と体を強くできるスポーツでもあります。私たちだけではなく、市民の皆さまの声やアイデアを反映しながら土岐市のバスケットボールを盛り上げていけたらと思います。



土岐市スポーツ協会70周年おめでとうございます。

ソフトボールは、世代や性別を越えて人をつなぎ、チームワークとフェアプレーの精神を育む生涯スポーツです。スポーツ協会のご支援のもと、運営の充実に努めてまいりました。次の十年に向けて、誰もが参加できる開かれた環境づくりに貢献していく決意です。

70周年を新たな出発点として、笑顔あふれるグラウンドを、皆さまとともに次世代へつないでまいりたいと思います。

\*\*\*\*\*

## ●現在の役員

会 長     木股   米夫  
副会長     小林   誠治  
理事長     水野   健一

## ●協会の10年間のあゆみ

### 【東濃スポーツ大会結果】

|     |     |
|-----|-----|
| 44回 | 2 位 |
| 45回 | 1 位 |
| 46回 | 1 位 |
| 47回 | 2 位 |
| 48回 | 2 位 |
| 49回 | 3 位 |
| 50回 | 3 位 |
| 51回 | 中止  |
| 52回 | 2 位 |
| 53回 | 3 位 |

## ●今後の課題・展望

少子高齢により会員数の減少と高齢化、ジュニア・受け皿不足、指導者・審判の人材確保が課題となっています。現状の流れを変えるのはなかなか難しいですが、今後も、協会、監督、コーチ等一体になりソフトボール人口の拡大につなげていきたいと思っています。





## 体操協会



会 長

加 藤 雅 紀

土岐市体操協会は1977年土岐市体育協会に加盟し今年で48年になりました。ひとえに関係団体の皆様、協会員の方々のご支援、ご協力いただいたすべての皆様のおかげでありまして心から感謝申し上げます。

スポーツ協会70周年を契機として、体操協会もより一層の活躍と発展をしていきたいと思っています。

平素は、何かと体操協会をご支援いただいております関係団体の皆様、協会の皆様、引き続きご理解とご協力を受け賜りますようお願いを申し上げ挨拶と致します。



### ●現役員

会 長 加藤 雅紀（平成25年～現在）

副会長 加藤 智二（令和4年～現在）

理事長 菊地愛貴子（平成27年～現在）

### ●10年間のあゆみ

#### 県民スポーツ大会成績

|        |         |              |
|--------|---------|--------------|
| 平成26年  | 第 5 回大会 | 総合 4 位       |
| 平成27年  | 第 6 回大会 | 総合 4 位       |
| 平成28年  | 第 7 回大会 | 総合 4 位       |
| 平成28年  | 第 8 回大会 | 総合 3 位       |
| 平成29年  | 第 9 回大会 | 総合 3 位       |
| 平成30年  | 第10回大会  | 総合 3 位       |
| 令和 1 年 | 第11回大会  | 総合 3 位       |
| 令和 2 年 | 第12回大会  | 総合 3 位       |
| 令和 3 年 | 第13回大会  | コロナ関連により大会中止 |
| 令和 4 年 | 第14回大会  | 総合 5 位       |
| 令和 5 年 | 第15回大会  | 総合 5 位       |
| 令和 6 年 | 第16回大会  |              |

男女とも選手不足によりオープン参加暫定 5 位

### ●今後の課題・展望

土岐市スポーツ協会に加盟して48年になりました。体操の普及と強化を目的として市民スポーツ大会開催と県民スポーツ大会に参加し前記のような結果を残すことができました。

国体強化については加藤雅紀が県強化部長兼国

体帯同トレーナー、小池寿美が国体成年女子監督として国体強化に携わり成績も残すことができた事を光栄に思います。

近年はオリンピックなどでメダルを獲得する選手も多く育ち注目されていますが少子化の影響で選手の減少傾向がみられるのが現状です。もう一つの問題として専用器具が非常に高価で環境が整った施設が非常に少なく特に中学校体育での活動が困難となっています。唯一の中京高校体操部も5年前に活動が停止となり選手の受け入れ拠点がなくなりました。岐阜県体操活動も将来的に低下していくのでは無いかと危惧しております。

県協会など関係団体様の協力をいただきながら後継者育成と選手育成をしていきたいと思っています。





# ゲートボール協会

## ●ゲートボールの発祥

ゲートボールは、1947年（昭和22年）北海道根室町の鈴木栄治氏がヨーロッパの伝統的な競技である、クロットーをヒントに考案されたもので、戦後の物資不足の中、子供たちが手軽に楽しめるようにということが始まりです。

その後1960年代から高齢者向けのスポーツとして全国の教育委員会の注目を集めるようになり、1964年東京オリンピック開催には文部省（現文部科学省）が国民スポーツを提唱し全国的に普及した。

当市においては老人会会員によりゲートボールの競技がスタートした経緯がある。

## ●現在役員

会 長 細江 知  
理 事 長 梅本 勝也  
副理事長 筒井 茂久

## ●10年間のあゆみ

### 年間平均試合数

市 大 会 4 試合  
東濃地区大会 3 試合  
県 大 会 7 試合



令和3年 第37回岐阜県選抜ゲートボール大会  
男女別 男子クラス優勝

全国大会中止

第1回全国健康福祉祭ねりんピック岐阜  
予選会 優勝

令和4年 第38回岐阜県ゲートボール選手権大会  
優勝

第38回全日本ゲートボール選手権大会  
出場

令和6年 第39回岐阜県選抜ゲートボール大会  
男女別 男子クラス優勝

第39回全国選抜ゲートボール大会  
男子クラス第3位入賞



## ●今後の課題

ゲートボール競技がシルバー向けの競技と受け取られているようなので、全世代が取り組めるスポーツとして普及させたい。良いアイデアがあれば募集します。

## 土岐市大会のあゆみ

| 各年度大会成績 | 春季大会順位 | 夏季大会順位 | 連盟大会順位 | 秋季大会順位 |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 平成27年度  | 第37回   | 第35回   | 第9回    | 第37回   |
|         | 1位 大 富 | 1位 大 富 | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 |
|         | 2位 下肥田 | 2位 曾 木 | 2位 大 富 | 2位 大 富 |
|         | 3位 泉ヶ丘 | 3位 下肥田 | 3位 泉ヶ丘 | 3位 泉ヶ丘 |
| 28年度    | 第38回   | 第36回   | 第10回   | 第38回   |
|         | 1位 大 富 | 1位 下肥田 | 1位 曾 木 | 1位 下肥田 |
|         | 2位 下肥田 | 2位 大 富 | 2位 泉ヶ丘 | 2位 泉ヶ丘 |
|         | 3位 曾 木 | 3位 泉ヶ丘 | 3位 曾 木 | 3位 曾 木 |
| 29年度    | 第39回   | 第37回   | 第11回   | 第39回   |
|         | 1位 大 富 | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 |
|         | 2位 下肥田 | 2位 曾 木 | 2位 大 富 | 2位 曾 木 |
|         | 3位 曾 木 | 3位 大 富 | 3位 曾 木 | 3位 大 富 |
| 30年度    | 第40回   | 第38回   | 第12回   | 第40回   |
|         | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 |
|         | 2位 大 富 | 2位 大 富 | 2位 大 富 | 2位 曾 木 |
|         | 3位 曾 木 | 3位 曾 木 | 3位 土岐西 | 3位 大 富 |
| 令和元年    | 第41回   | 第39回   | 第13回   | 第41回   |
|         | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 |
|         | 2位 曾 木 | 2位 大 富 | 2位 大 富 | 2位 大 富 |
|         | 3位 大 富 | 3位 曾 木 | 3位 曾 木 | 3位 曾 木 |
| 2年度     | 第42回   | 第40回   | 第14回   | 第42回   |
|         | 中止     | 中止     | 中止     | 中止     |
| 3年度     | 第43回   | 第41回   | 第15回   | 第43回   |
|         | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 |
|         | 2位 大 富 | 2位 大 富 | 2位 曾 木 | 2位 曾 木 |
|         | 3位 土岐西 | 3位 曾 木 | 3位 大 富 | 3位 土岐西 |
| 4年度     | 第44回   | 第42回   | 第16回   | 第44回   |
|         | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 | 1位 下肥田 |
|         | 2位 大 富 | 2位 大 富 | 2位 大 富 | 2位 大 富 |
|         | 3位 曾 木 | 3位 曾 木 | 3位 曾 木 | 3位 曾 木 |
| 5年度     | 第45回   | 第43回   | 第17回   | 第45回   |
|         | 1位 大 富 | 1位 大 富 | 1位 大 富 | 1位 大 富 |
|         | 2位 下肥田 | 2位 下肥田 | 2位 下肥田 | 2位 土岐西 |
|         | 3位 曾 木 | 3位 曾 木 | 3位 曾 木 | 3位 下肥田 |
| 6年度     | 第46回   | 第44回   | 第18回   | 第46回   |
|         | 1位 土岐西 | 1位 曾 木 | 1位 下肥田 | 1位 土岐西 |
|         | 2位 曾 木 | 2位 下肥田 | 2位 土岐西 | 2位 曾 木 |
|         | 3位 下肥田 | 3位 土岐西 | 3位 大 富 | 3位 下肥田 |



# テニス協会



会 長

小 板 雅 之

土岐市テニス協会は、昭和56年に発足し現在の会員数は約200名に至っています。

これは発足からの協会役員、各クラブの運営担当者の普及活動のおかげです。

現在のテニス協会の活動は、下記の通りです。

## 1. 市協会の主催大会

4月 岐阜県社会人新人戦

5月 土岐市民大会

9月 土岐市オープン大会

ジュニア大会

10月 どきどきチャレンジカップ

## 2. 市協会内行事

6月 クラブ対抗戦

11月 川守杯ミックスダブルス大会

## 3. 普及活動

7・8月 テニス教室

尚、市協会員の競技レベルは年々向上し、個人戦においては、県選手権・県ベテラン大会での活躍、団体戦においては、国体・都市対抗戦・レディース大会等の全国大会の県代表として出場する選手も誕生しています。

今後もテニス教室等で、ジュニアからシニアまでの生涯スポーツとしてテニスを楽しめる場を継続して提供していきます。



\*\*\*\*\*

## ●歴代役員

### 会 長

高瀬 達郎 (S56.4～ H3.3)

川守 武昌 (H3.4～ H10.3)

片岡 勝敏 (H10.4～ H19.3)

小板 雅之 (H19.4～現在)

### 理事長

川守 武昌 (S56.4～ H3.3)

楓 治 (H3.4～ H8.3)

加藤 素英 (H8.4～現在)

### 副会長

交告 昇 (S56.4～ S62.3)

加藤 浩之 (S62.4～ H3.3)

片岡 勝敏 (H3.4～ H10.3)

小板 雅之 (H8.4～ H19.3)

石原 茂 (H19.4～現在)

### 現役員

会 長 小板 雅之 (アプローチ)

副 会 長 石原 茂 (ラ・ポーム)

理 事 長 加藤 素英 (ミキヤ)

副理事長 佐藤 守 (NIFS)

会 計 伊佐治良典 (スマッシューズ)

監 事 後藤 貢志 (ワイルドボア)



## ●協会設立までのあゆみ

昭和46年に青少年総合活動センターで一部の愛好者がテニスクラブを発足させ、昭和48年にスマッシュャーズ・テニスクラブが正式に県登録団体となり、東濃初のテニス大会として土岐オープンテニス大会を開催するに至った。その後、昭和50年代のテニスブームの到来とともに市内にテニス愛好者が増え、これを踏まえて社会体育課(現生涯学習課の公民館活動)とタイアップして初心者テニス教室を開催し、テニス人口が急激に増えていった。

こうした中で県登録団体に土岐ローンテニスクラブ、キラ星テニスクラブが加盟し、土岐市テニス協会の素地が出来上がっていった。そして、昭和56年4月に上記3団体を中心にして本協会が発足した。

## ●設立から現在までの主な活動状況

### 協会の活動

テニスブーム到来に合わせ、市民総体、市民選手権、土岐オープンなど、企画する大会は多かったが、ブームの沈静化に伴い、協会員は徐々に増加から減少に転じた。このながれに沿う形で、各大会もそれぞれの個性にあった形に変化をしている。

協会はクラブ単位での加入を前提としており、本部役員を中心に、クラブ対抗や川守杯などの協会内行事、土岐オープンや社会人新人戦などのオープン大会の運営をクラブへの役割分担で行っている。

特に、協会の歴史とともに歩んできた土岐オープンは、第1回大会開催時の主旨を堅持し、地域のテニス人口拡大のため、初級から中級クラス向けの大会として定着し、協会の最大イベントとして位置付けており、令和6年に50周年記念大会を開催した。





## インディアカ協会



会 長

加 藤 猛

土岐市スポーツ協会70周年おめでとうございます。

インディアカは羽根の付いたボールを手で打ち合う競技で、初心者でも簡単に始められるスポーツです。又、適度な運動、負荷の少ない点等から、「生涯スポーツ」と言われ、昨今の「長寿・健康社会」に最適です。

今後もインディアカ普及の活動に尽力致します。

### ●現在の役員

会 長 加藤 猛

副会長 清水 秀朗

水野由美子

理事長 高木 敏造

### ●協会の10年間のあゆみ

(平成27年から令和6年までの10年間のあゆみ)

現在、土岐市インディアカ協会には、10団体(約110名)が登録をし、各チームに於いて、泉・土岐津・駄知・肥田・下石地区にて、毎週練習を行っております。

又、土岐市主催の「市民スポーツ大会」をはじめ、インディアカ協会主催の「登録チーム大会」「土岐市インディアカ大会」を開催して技術向上を図っております。



又、土岐市主催の「焼津交流会」に参加し、焼津市インディアカ協会の方々と交流を図っております。

又、「レクリエーション大会」「合同練習」「インディアカ教室」を開催し、会員同士の交流を図っております。

### ●今後の課題・展望

コロナ期に「団体の減少」「会員数の減少」があった為、今後は「現会員」の充実を図る活動と共に、「新規会員」の勧誘を促すイベントを企画し、会員拡充を行っていく所存です。



## ライフル射撃協会



会 長

櫛田 幸太郎

土岐市スポーツ協会70周年おめでとうございます。

土岐市ライフル射撃協会も市体育協会加盟から30年ほど経ち、共に時を共有できたことをとても誇りに思っております。

今後も微力ながら頑張って活動いたします。



### ●役員

会長・事務局 櫛田幸太郎

副会長 瀧 秀夫

参 与 水野 榮次



### ●土岐市ライフル射撃協会 過去10年間の成績

|              |    |
|--------------|----|
| 第6回県民スポーツ大会  | 4位 |
| 第7回県民スポーツ大会  | 2位 |
| 第8回県民スポーツ大会  | 3位 |
| 第9回県民スポーツ大会  | 3位 |
| 第10回県民スポーツ大会 | 4位 |
| 第11回県民スポーツ大会 | 3位 |
| 第12回県民スポーツ大会 | 5位 |
| 第14回県民スポーツ大会 | 3位 |
| 第15回県民スポーツ大会 | 5位 |
| 第16回県民スポーツ大会 | 3位 |

### ●今後の課題・展望

当協会も、会員の高齢化により存続が危ぶまれていますが、昨年2名増えて、よいニュースもありました。銃砲を扱うため、公に広く普及活動をしていないよう警察からの指導もあります。

また、東濃エリアには射撃部のある高校もありません。こういう環境下でも、今まで活動できたので今後も、少数精鋭？で頑張っていきます。よろしく願いいたします。





## ゴルフ連盟



会 長

後 藤 久 男

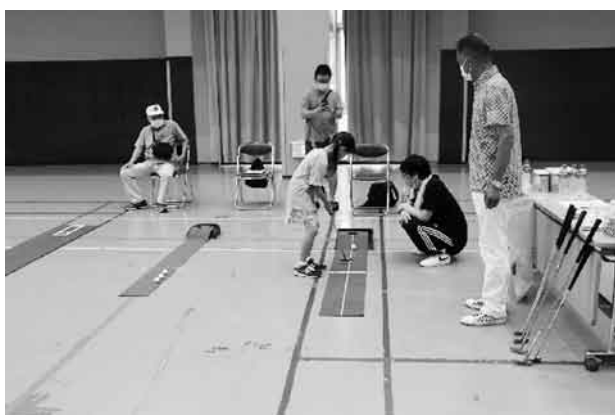
日頃は、土岐市ゴルフ連盟にご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

### ●現在の役員

会 長 後藤 久男  
副会長 岩井 一  
土本 浩義  
理事長 山田 隆義

### ●10年間のあゆみ

10年の間、土岐市親睦ゴルフ大会・各町内対抗戦などを楽しく開催しています。そんな中、岐阜県民スポーツ大会にも代表選手を出して来ました。



令和7年度は、県内8位と大変良い結果でした。

ゴルフといえば土岐市には、小野祐夢選手・神谷そら選手という人気の女子プロゴルファーが頑張っています。

これからも大活躍していただくとともに、土岐市の知名度が上がることを願っています。

### ●今後の課題・展望

いろいろ課題もありますが、役員一同の若返りも含めて検討しながら進めてまいりたいと思います。

今後ともよろしくお願いします。







## ●現状

現在10クラブで149名の会員が参加し、それぞれのクラブで日々練習に励んでいます。年齢構成は、60代、70代、80代、90代とありますが、70～80代の方が最も多く、年6回の大会に参加することもできます。

グランドゴルフは高齢者にとって、適度な運動量で、取り組みやすいスポーツといえます。3ゲーム24ホールを回っていくと、時間にして約90分、歩数にして約1500歩ほどを知らないうちに歩いています。体力向上・健康維持にはもってこいのスポーツではないかと思います。

それぞれのクラブでは、活動に独自の工夫を凝らし、メンバーの交流、技量の向上を目指して楽しんでいます。クラブ員の中には協会に所属してみえない方もありますので、実際の活動人数はもっと多くなります。

## ●現在の役員

|       |       |
|-------|-------|
| 会 長   | 永田 哲矢 |
| 副 会 長 | 福井 雄夫 |
| 副 会 長 | 安田 光男 |
| 理 事 長 | 安江 純義 |
| 女性部長  | 蜂谷あさ子 |
| 女性副部長 | 加藤ます子 |
| 女性副部長 | 奥村 逸子 |
| 女性副部長 | 三戸シゲ子 |
| 女性副部長 | 安藤 恭子 |

## ●10年間のあゆみ

土岐市グランドゴルフ協会が土岐市スポーツ協会に加入したのは、ちょうど10年前の2015年のことでした。それまでは、有志の方々によって大会が計画され、実施されてきました。加入以後は、役員・理事が、協会規約のもとに改選され、今日に至っています。

協会主催で行っている大会は、市民スポーツ大会、春季大会、夏季大会、スポーツ交流大会、レ

ディース大会、会長杯大会があります。毎年このような大会を土岐市総合公園多目的広場において開催してきました。

また、新会員獲得とルールを理解を深めるために、年度初めに各クラブの練習場をお借りして、順に4か所で市民を対象としたグランドゴルフ教室を開催してきました。

コロナ禍にあっては、活動自粛の雰囲気でしたが、グランドゴルフは野外での活動を主としていましたので、マスク、手洗いなどに留意して活動を続けることができました。大会においては、各クラブに協力を呼びかけ、健康チェック票の提出、マスクの着用、手の消毒の敢行をお願いしてきましたので、幸いにも感染の拡大を避けることができたと思います。

毎年行われる焼津市とのスポーツ交流会に参加することを愉しみにしてみえる方がたくさんいらっしゃると思います。市スポーツ協会の関係者の皆様のご尽力のお陰で、この催しが続けられることに感謝します。

愛好会（美幸公園）、追沢会（セラドンパーク）、西寿会（西山公園）、下石クラブ（下石工業組合所有地）、西友クラブ（旧妻木保育園跡地）、平成クラブ（平成公園）、白寿会（駄知運動公園）、肥田クラブ（肥田公民館広場）、大徳原クラブ（大徳原球場）、泉が丘クラブ（泉が丘北公園）



## ●今後の課題

クラブの事情はすべて違ってしますので、仲間を増やしたいと思っても、これとってうまくいく方法は見つかりません。やはり周りの方や、友達などに呼びかけて一人ずつでも増やしていくしかないようです。70代前半の方の参加が少ないのは、退職後も現役で頑張っている方が多いためと思われます。これは社会現象となっているようです。

高齢者が多いスポーツですので、車の免許返納がすぐに迫ってきています。これまで仲間内で同乗して行くことで大会参加ができていましたが、それができなくなってしまうと、自然と大会参加者が減少してしまうことが予想されます。総合公園はバスで行くには時間がかかりすぎます。タクシーを使ってでも大会に参加することは考えられますが、まだ何とかやっていけるといった状況です。

いずれにしても、大会もできなくなってしまうことが危惧されるようなところまで来ているといえます。





## 水泳協会



会 長

木 村 正 博

1960年代後半に市内の小中学校にプールが建てられるようになり、1972年に水泳熱が高まるなか水泳経験者を中心に気運が高まり、土岐市水泳協会は1973年10月に設立されました。

その後、会員数は増減を繰り返しながら、土岐市民スポーツ大会では運営、岐阜県民スポーツ大会や東濃スポーツ大会では上位入賞等の成績を収めてきています。

また、現在までに日本水泳連盟や岐阜県水泳連盟から数名の方が有功賞を受賞するなどの功績を残しています。

昭和から平成にかけ、オリンピック等によりスポーツ界が盛り上がりを見せる中、土岐市にも温水プールを持つ民間スイミングスクールが開設されたことで、水泳人口が増加し県内でも強豪地区になりました。

しかし、平成中盤に入ると、少子化現象による影響、令和には新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、水泳人口が減少し弱体化してしまいました。

また、土岐市の市民プールも閉鎖され、さらに近年では学校のプールも減少し、中学校におけるクラブ活動の種目削減が行われた結果、現在では水泳クラブを持つ土岐市内の中学校は一校のみとなってしまいました。

このような実情の中、土岐市水泳協会は2022年に50周年を迎え、①「生涯スポーツ」、②「健康促進」、③「心身の安定」、④「人との繋がり、出会い」、⑤「競技会の運営と参加」、⑥「水泳競技の発展」の6つを重点項目として活動を進めています。

\*\*\*\*\*

### ●歴代役員

#### ■会長

米川 良一（1973年～1981年）  
杓名 直美（1982年～1986年）  
阿部 幹夫（1987年～1998年）  
大橋 廣（1999年～2013年）  
加藤 哲久（2014年～2023年）  
木村 正博（2024年～現在）

#### ■副会長

吉澤 守（1982年～1986年）  
大橋 廣（1987年～1998年）  
道林 曠（1987年～2003年）  
加藤 茂夫（1987年～2000年）  
加藤 哲久（1997年～2013年）  
横尾猪佐次（1999年～現在）  
速水 栄一（2004年～2013年）  
松原 寛幸（2014年～現在）

#### ■理事長

杓名 直美（1973年～1981年）  
酒井 郁夫（1982年～1986年）  
池島栄二郎（1987年～1990年）  
横尾猪佐次（1991年～1998年）  
佐藤 莞爾（1999年～2003年）  
村瀬 祐一（2004年～2013年）  
木村 正博（2014年～2023年）  
小栗 祥（2024年～現在）

## ●水泳協会設立と今日までのあゆみ

1965年に土岐市出身の選手が国民体育大会に初参加以来、土岐市出身の多数の選手が全国大会出場を果たし、1972年頃から協会設立の気運が高まり、土岐市水泳協会が設立された。

設立以降、水泳の普及を最大の目的として、泳げない人を対象とした様々な「水泳教室」を開催していた。

1984年から2003年までの20年間、土岐市水泳選手権大会を開催してきた。

土岐市民総合体育大会／土岐市民スポーツ大会では水泳競技の運営を担当し、2006年には運営を円滑に行えるよう、土岐市水泳協会にて独自の運営システムを開発した。

2006年以降はそのシステムを改良し大会のプログラム作成、得点計算、賞状の印刷などを自動化し運営をスムーズに行っている。

平成時代では、水泳は他のクラブ活動に先駆け、中学校のクラブ活動に指導者を派遣し水泳競技の発展に尽力してきた。

2020年には、COVID-19の影響により中学生の大会が中止になったことから泉中水泳クラブからの要請により記録会を開催した。

2022年には、50周年を迎え、2024年には土岐市水泳協会の大会運営システムが東濃水泳協会から認められ東濃大会で使用する事が決まった。

## ●過去の関係連盟からの受賞者

### 日本水泳連盟 有功賞 受賞者

2000年 道林 曠

2016年 加藤 哲久

### 岐阜県水泳連盟 有功賞 受賞者

1990年 道林 曠

1993年 阿部 幹夫

2014年 大橋 廣

2017年 杵名 直美

2017年 加藤 哲久

2020年 横尾猪佐次

2022年 木村 正博

## ●過去の大会参加と成績

### 岐阜県体育大会 水泳競技 (県民スポーツ大会)

1974年以降、参加

過去最高成績 1984年 総合4位

最近5年の最高成績 2024年 総合4位

### 東濃総合体育大会 水泳競技 (東濃スポーツ大会)

1969年以降、参加

過去最高成績 1987年 優勝

最近5年の最高成績 2024年 総合3位

### 土岐市民総合体育大会夏季大会 水泳競技 (土岐市民スポーツ大会)

1975年以降、参加、運営

## ●過去の主な事業内容、活動

1969年 東濃総合体育大会に初参加

1973年 10月 土岐市水泳協会を設立

1974年 第一回土岐市民水泳競技大会 開催  
岐阜県体育大会水泳競技に初参加

1975年 市内各小学校へ水泳指導  
(12年間)  
市内各中学校水泳部へ競技指導  
(11年間)  
市民総合体育大会水泳競技を運営  
(現在まで)

1976年 日本赤十字社水泳安全講習会開催  
(8年間)

1984年 土岐市水泳選手権大会開催  
(20年間)

1988年 土岐市学童水泳記録会へ役員派遣  
(5年間)

1990年 土岐市中学校水泳大会へ役員派遣  
(2年間)

2006年 大会運営システムの開発

2014年 泉中水泳クラブへ指導者派遣  
(現在も派遣中)

2020年 COVID-19の影響により、大会が中止となった為、泉中水泳クラブの記録会を開催

2024年 土岐市水泳協会の大会運営システムを改良し東濃スポーツ大会の運営開始



## ●現在の主な活動と今後の課題

現在土岐市の土岐市水泳協会は、スイミングクラブ関係者、学校関係者、水泳愛好者で構成されている。

年間の主な活動は、

- ①東濃スポーツ大会の水泳競技への参加
- ②岐阜県民スポーツ大会の水泳競技への参加
- ③土岐市民スポーツ大会の参加と運営
- ④土岐市内の中学生クラブ活動の指導
- ⑤土岐市スポーツ協会との協力
- ⑥東濃水泳協会との協力
- ⑦岐阜県水泳連盟との協力

を行っている。

現在の会員は徐々に高齢化してきている。

近年では市民プールや学校のプールも無くなってきており、泳げる環境が少なくなったことで、さらに水泳人口が減少しており、大会への参加者の増員や、水泳競技の発展が難しいのが現状である。

土岐市水泳協会は水泳というスポーツを通じ、「生涯スポーツ」、「健康促進」、「心身の安定」、「人との繋がり、出会い」、「競技会の運営と参加」、「水泳競技の発展」を重視し、男女問わず、高齢から若年まで幅広い年齢層で継続して活動ができるようにしていきたい。





土岐市カヌー協会は、個人レベルでの競技会やレジャーとしてカヌーを楽しんでいた仲間たちの啓発により発足いたしました。

現在、岐阜県民スポーツ大会・東濃スポーツ大会のカヌー競技に出場するとともに、土岐川にて土岐市民スポーツ大会のカヌー競技を開催しています。

また毎年カヌー教室を土岐川で開催し、子供から大人まで市民のみなさまにカヌーというウォータースポーツを楽しんでもらい、普及に努めています。

\*\*\*\*\*

## ●現在の役員

会 長    水野 博昭  
副会長   水野 徳久  
理事長   松本 行広

## ●協会の10年間のあゆみ

競技スポーツのカヌーは、約10年前にオリンピックで日本が初のメダルを獲得してから、TV番組にも多くとりあげられるスポーツになりました。

また、レジャースポーツのカヌーは、SUP と

いう新しい形のカヌーが登場し若者にも人気のアクティビティとなりました。2016年の土岐市民プール閉鎖以降は、土岐川に会場を移しカヌー教室を年2回開催、また SUP を取り入れ、市民の皆さまにカヌーを親しんでいただけるよう活動してきました。教室参加者向けのレベルアップを目的とした初心者向けの体験ツーリングなども行い、カヌーを通じて安全で楽しい河川とのふれあいを推進しています。

## ●今後の課題・展望

河川でカヌーを楽しむには、技術や安全面の知識の習得、カヌーが出来る環境が必要となり、カヌー競技を継続していくことは簡単ではありません。

カヌー協会は、市民の皆様にレジャースポーツ・競技スポーツとしてカヌーが親しんでいただけるよう活動していきます。



カヌー教室の様子



## スキー協会



会 長

櫻 井 泰 伸

永年土岐市のスキー協회를まとめていただいた塚本前会長から指名を受け、会長職を引き継いだ櫻井です。

スキーに関する情熱は誰にも負けないと自負して60年近く、寝ても覚めてもスキー命で突っ走ってきましたが2021年人生最大のミスを犯し膝の粉碎骨折をしました。初めて担架で搬送、6回もの手術、計170日の入院、現在は周りからスキー禁止の処分を頂戴して裏方で岐阜県スキー連盟の理事などをさせていただいております。



### ●現在の役員

|     |       |
|-----|-------|
| 会 長 | 櫻井 泰伸 |
| 副会長 | 加藤 健治 |
| 理事長 | 加藤健一郎 |

### ●協会の10年間の歩み

この10年コロナ禍になるまでは順調にスキー教室や市民大会、東濃大会に東濃ジュニア大会などを行い徐々にジュニアの育成も進みましたが、コロナによる外出制限の為に一気に活動が止まり全てが白紙になりました。ただその間にも協会員が個人的に活動を継続し、正指導員11名、準指導員1名、1級3名、検定員12名と県下でも有数のクラブになりました。



大会前の様子



## ●今後の課題

この20年スノー人口は徐々に減り続けピークの三分の一になりました。相次ぐスキー場の閉鎖、温暖化による積雪量の減少、物価高による外出制限、日本の天然資源とも言われる極上の粉雪を求めるインバウンド需要による白馬・ニセコなどラーメン1杯2,000円などの狂乱的な物価高もあります。岐阜県においては高速道路網の整備が進み2時間もかからずスキー場に着くことができます。コロナも5類になったことにより、バスによるスキー教室や市民大会の参加も考慮しているとも考えています。

## 【年間行事】

12月初滑り会

1月 ポール練習

1月下旬 土岐市民大会

2月上旬 岐阜県民スポーツ大会

2月中旬 東濃スポーツ大会

## 【取得資格】

### 全日本スキー連盟正指導員

塚本 恵二、日比野洋示、加藤 健治、  
伊勢亀弘義、伊藤 均、佐々木 強、  
篠原 敏夫、島田 泰史、徳留 竜一、  
塚本 大作

### 全日本スキー連盟準指導員

高橋 亮太

### 全日本スキー連盟検定員12名



スキー教室の様子





## スケート協会



会 長

松 本 栄 治

歴代会長始め、役員、会員のご協力、ご指導により選手層の薄い中、チームワークと団結力で活動を続けて来ました。

今後も許された環境、条件の中で協会員、力を合わせ出来る限りの活動をしていきたいと思っています。

### ●現在の役員

|     |       |
|-----|-------|
| 会 長 | 松本 栄治 |
| 副会長 | 足立 峰幸 |
| 副会長 | 加藤志津江 |
| 理事長 | 林 孝一  |
| 事務局 | 松本 直子 |



### ●協会の10年間のあゆみ

(平成27年から令和6年までの10年間のあゆみ)

平成17年12月に待望の県営恵那スケートリンクがオープンし、協会としても大きな転機となりました。毎年、県民スポーツ大会、東濃体育大会、三市合同市民大会に参加して来ました。

現在、土岐市在住の兄弟、原田海間さんが全国レベルの活躍、原田瀬蓮さんが全国大会を目指して頑張っています。

#### ○原田海間 山梨学院大学

|         |                  |           |      |
|---------|------------------|-----------|------|
| 2024/1  | インターハイ           | 5000m     | 6位入賞 |
|         |                  | 10000m    | 4位入賞 |
|         |                  | パシュート     | 8位入賞 |
| 2024/11 | 全日本選抜スピードスケート競技会 |           |      |
|         | 苫小牧大会            | 3000m     | 優勝   |
| 2024/12 | 全日本選抜スピードスケート競技会 |           |      |
|         | 恵那大会             | マススタートレース | 2位   |
| 2025/1  | インカレパシュート        |           | 6位   |

#### ○原田瀬蓮 麗澤瑞浪中学校

2024/12 岐阜県ジュニアスピードスケート競技会

1500m 優勝

3000m 2位



### ●今後の課題・展望

指導者の養成と確保に努めると共に、県営リンクでのスケート教室の開催と小・中・高校生に広くPRし、手軽に楽しめるスケートとして普及することが大切です。一方、三市合同市民大会、東濃体育大会、県民スポーツ大会への参加者の確保を地域体育協会と計り、スケート競技の普及発展に努めていきたいと思っています。



## 馬術協会



会 長

阿日塔(アルタ)

土岐市馬術協会として土岐市で乗馬を楽しめる活動をしていきたいです。



### ●歴代役員(会長・副会長・理事長)

会 長     阿日塔  
副会長   小栗 陽子  
理事長   小栗 由紀

### ●協会のあゆみ(活動状況及び成績)

2016岩手国体     4 位  
2017愛媛国体     1 位  
2018福井国体     1 位  
2019茨木国体     2 位  
2020鹿児島国体  6 位  
と国体の馬術競技で入賞

全日本障害馬術大会や全日本ジュニア障害馬術大会に出場する馬術協会の会員である選手を育成。

岐阜県民スポーツ大会に参加して優勝、準優勝。  
TOKI スポーツフェスティバルの体験乗馬を実施。

### ●今後の課題・展望

土岐市スポーツ協会と連携して土岐市で乗馬を楽しめる機会を増やしたい。

毎年県民スポーツ大会にて優勝を目指し、全日本や国体を目標に選手育成に力を入れていきたい。





## ボウリング協会



会 長

正 村 恵 里

土岐市スポーツ協会設立70周年という大きな節目の年にあたり、記念誌発刊に際しご挨拶の機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

土岐市ボウリング協会は、平成27年度に土岐市スポーツ協会（当時 体育協会）へ加入し、10年の節目を迎えることができ、大変嬉しく思っております。

これもひとえに関係各位のご理解とご支援の賜物です。

加入年数は浅い協会ではありますが、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



土岐市民ボウリング大会

### ●歴代役員（現役員）

|     |       |
|-----|-------|
| 会 長 | 正村 恵里 |
| 副会長 | 正村 貴昭 |
| 理事長 | 堀田 和之 |
| 理 事 | 工藤 由佳 |

### ●協会の10年間のあゆみ

- 2015年 土岐市スポーツ協会(当時 体育協会)加入  
岐阜県民スポーツ大会（当時 県民体育大会）へ初出場
- 2016年 市民スポーツ大会ボウリング競技（土岐市民ボウリング大会）の初開催
- 2019年 初心者ボウリング教室の初開催
- 2022年 TOKI スポーツフェスティバルにて「ミニボウリング」を初開催
- 2025年 工藤由佳選手が、国内ボウラーの最高峰の個人戦「NHK 杯 全日本選抜ボウリング選手権大会」にて優勝  
ねんりんピック岐阜2025 ボウリング種目の開催

### ●今後の課題・展望

10年の節目を迎えた2025年、工藤由佳選手が国内ボウラーの最高峰の個人戦「NHK 杯 全日本選抜ボウリング選手権大会」にて優勝し、ついに当協会から「日本一」の選手が誕生しました。競技としてのボウリングとともに、ボウリングは世代を問わず生涯楽しめるスポーツですので、健康づくりや地域交流の場としても大きな可能性を持っています。土岐市でボウリングができる環境に感謝しつつ、今後も多くの方に親しまれる活動を進めてまいります。



ミニボウリング



左：工藤選手



# パワーリフティング協会



会 長

武 村 有 基

日々トレーニングに励まれている皆様、お疲れ様です。

パワーリフティングはセカンドキャリアとして最適な競技です。どんな人でも手軽に始めることができます。唯一必要な才能がありまして、“一喜一憂せずに淡々と”できることです。

この競技を通して、後からその能力を身に付けることができます。そのような習慣を身に付けておられる方々、そのような習慣を身に付けたい方々、ぜひセカンドキャリアとして一緒に始めませんか。お待ちしております。



## ●現在の役員

会 長 武村 有基 (兼 理事長)  
副会長 松尾 有一

## ●協会の2年間のあゆみ

(令和5年から令和6年までの2年間のあゆみ)

- ・令和5年7月4日に設立する。
- ・令和5年9月に「県民スポーツ大会」に初めて“土岐市”として出場する。  
(出場者1名、8／8位)
- ・令和6年9月に「県民スポーツ大会」に2度目の出場をする。  
(出場者6名、5／8位) →写真

## ●今後の課題・展望

- ・「県民スポーツ大会」に15名が出場し、3位以内入賞する。
- ・「市民スポーツ大会」に競技種目として5年以内に参加する。
- ・教室や交流練習会を開催し、未経験者の大会参加を斡旋する。
- ・生涯スポーツとして、現参加者に大会参加の支援を継続する。







## 〇現役員

本部長 土屋総一郎  
副本部長 渡辺 和広  
理事長 林 昇  
副理事長 小林 誠治

顧問 加藤 幸男  
軟式野球部長 森川 顕  
空手道部長 加藤 芳彦  
バレーボール部長 榎木 計正



土岐市スポーツ協会70周年の節目に際し、心よりお祝い申し上げます。発足から現在に至るまで、多くの先輩方よりご尽力されたことに敬意を表します。

スポーツ少年団は土岐市の未来を担うこどもたちの健全な育成を目的とし、長きにわたりスポーツを通じた取り組みを続けてきました。昭和42年に2団の創設に始まり、団員が1,000人を超えた時期もありましたが、少子化やスポーツ環境の変化などの影響により、現在では5団81人という状況となっています。

地域のこどもたちがスポーツを楽しめる場を提供するという使命はその重要性を増しています。この状況に対して課題意識を強く持ち、未来を見据えた取り組みを継続していく必要があります。

現代のスポーツ環境は大きく変化しており、スポーツを楽しむためには多様なニーズへの対応や指導方法の見直しが求められています。特にスポーツハラスメントの問題については、指導者だけではなく地域社会全体で意識を共有し、ハラスメントの起こらないスポーツ少年団活動のための取り組みが重要です。こどもたちが安心してスポーツを楽しめるよう、身体的・精神的安全が確保された環境づくりが不可欠です。

また、中学校部活動の地域展開など、こどもたちのスポーツ環境の変化にも注視し、スポーツ少年団としてできることを工夫しながら実施してまいります。こどもたちが生涯にわたってスポーツを楽しむことができるよう、取り組んでまいります。



休日の部活動の地域移行が進むなど、部活動を取り巻く環境は、ここ数年で大きく様変わりをしました。しかし、生徒が文化やスポーツに親しみ、自分に挑戦し、仲間とともに取り組み、自分が輝ける居場所としての役割が失せるわけではありません。

今後も地域クラブと連携しながら、生徒が輝ける大切な居場所として、保護者や地域の方々のご理解ご協力をいただき、部活動を適切に運営していきたいと考えています。

## ●現在の役員

会 長     加藤   宏峰  
理事長   松下   幸汰

## ●協会の10年間のあゆみ

学校活動での部活動、保護者クラブと連携し、技術を磨くことで数多くの実績を残すことができました。部活動をきっかけに、中学校卒業後もスポーツを続け、地域のスポーツクラブに参加をする人も数多くいて、生涯スポーツに繋がっています。

現在、コロナ禍による影響で部活動が自粛傾向になり、活動時間が減少していますが、地域スポーツ移行が整い、クラブチームで活動し、結果を残している生徒がいます。

## ●今後の課題・展望

学校での部活動にかかる時間の減少、学校とクラブチーム、保護者やスポーツ連盟との連携が難しく、中体連大会への参加人数が少なくなっています。大会参加者を増やすために、大会内容や運営方法を今後工夫していきたいと考えています。



# 土岐津町体育協会



会 長  
水 野 久

土岐市スポーツ協会創立70周年を迎えられましたこと心よりお喜び申し上げます。

また、毎年、土岐津町体育協会のスポーツ行事へのご支援を頂き、心より感謝申し上げます。私たち土岐津町体育協会も昭和30年4月に発足して70年になります。私で17代目の会長となりますが、歴代の会長さんや役員の方々の並々ならぬご尽力があつてこそ、今の土岐津町体育協会があると思います。

これからもスポーツを通じて町民の皆さんの健康増進と親睦を図ることを第一に、市スポーツ協会、自治会、財産区、公民館などと連携し、楽しくスポーツを実施する機会を町民の皆さんに届けていきたいと考えております。

最後になりましたが、土岐市スポーツ協会の益々の発展とご健勝を祈念申し上げます。最後に挨拶に代えさせていただきます。



## ●現在の役員

|       |                                                                                                                                             |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 長   | 水野 久                                                                                                                                        |
| 副 会 長 | 長谷川 悟、土本 直也<br>河野 裕一                                                                                                                        |
| 理 事 長 | 後藤 晃吉                                                                                                                                       |
| 副理事長  | 安藤 敏彦、緒方 弘文<br>河添 正和、久野 智也<br>虎澤 謙二、水戸 謙如<br>水野 祐司                                                                                          |
| 書記・会計 | 水野 美弘                                                                                                                                       |
| 常任理事  | 内山 哲朗、大澤 昇<br>小川 和也、梶田 暢克<br>加藤 順子、加藤真利子<br>上条 晴子、河地 克之<br>木股 由子、小島 一星<br>佐藤みゆき、立木 健司<br>虎澤 倫代、鳥居 恵美<br>西尾 美雪、丹羽 章人<br>野々村由美子、森川 顕<br>山田 幸二 |

## ●主催行事

### 土岐津町民野球大会（毎年5月）

昭和24年に土岐津町自治会・土岐津公民館主催、体育協会主管行事として、全町内（26）が参加して第1回大会が開催されました。

令和2年から体育協会主催に移行しました。（コロナ禍で令和2年、3年は中止）

令和7年は5月19日・26日に開催され、8チームが熱戦を繰り広げました。



### 土岐津町インディアカ大会（毎年7月）

昭和61年12月に第1回大会を開催してから、現在は、毎年7月に開催し、令和7年に第36回大会をセラトピア土岐で開催しました。

多くの町民の皆さんに参加いただけるように大会独自ルールも入れながら開催しています。



### 中日旗争奪男女混合ソフトボール大会（毎年10月）

昭和53年11月「家庭婦人ソフトボール大会」を前身として、参加チーム数の減少を受け、昭和63年の11回大会からは、男子を入れ「男女混合ソフトボール大会」となりました。

令和7年は第46回大会を3町内が参加して開催しました。

### 土岐津町ソフトバレーボール大会（毎年12月）

平成13年に第1回大会を14チームの参加を得て開催しました。気軽に参加してもらえることか



ら、ピーク時には40チーム近くが参加し、盛り上がりを見せました。令和6年は14チームが参加して23回大会を開催しました。令和7年は12月7日に開催しました。

### 土岐津町テニス大会・土岐津町ソフトインディアカ大会

それぞれ種目協会・クラブが中心となって大会を運営しています。

## ●主管行事・協力行事

### 土岐津町元旦ジョギング&ウォーキング大会

毎年元旦に、土岐市役所を出発して、土岐津町内3つの神社をジョギング・ウォーキングして参拝する大会です。4つのコースに幼児から80歳以上の方までが参加し、自分のペースで楽しんでいます。

### 土岐津町夏祭り

毎年8月に開催される夏祭りに「紐つり」や「輪投げ」のコーナーを出し参加しています。

## ●今後の課題・展望

コロナ禍で恒例となっていた行事を中止せざるをえなくなり、再開した後も参加町内の数が戻らない状況が続いています。どの大会も参加者が固定化・高齢化し、特に女性の参加者を集めることが難しく、各町内の体育委員も選手集めに苦心されています。女子バレーボール大会を中止したほか、主管行事として携わってきた町民運動会もなくなり、スポーツを通じた町民の健康と親睦を図るという目的が十分に果たせなくなっています。ニュースポーツ・軽スポーツなど多くの町民が気軽に参加できる事業を検討していく必要があると考えています。



# 下石町スポーツ協会



会 長  
西 部 浩 司

下石町スポーツ協会は昭和36年に発足し今年で64年目を迎えました。町スポーツ協会の目的は、スポーツを通して町民が健康に幸せになることです。スポーツ行事の運営、町内行事に協力することを通して、町民にふれあいの場を提供し、親睦を深め、地域の連帯感を高め住みよい地域を作っています。

下石町スポーツ協会の行事を少し紹介させていただきます。

ソフトバレーボール・インディアカ大会は、親しみやすい競技で女性を中心に行われており、様々な世代で各地区の輪ができています。

町民野球大会は親睦が第一といいつつ勝負にこだわり一つ一つのプレーに目を輝かし、真剣勝負が繰り広げられています。

グラウンドゴルフ大会は、幼児から老人まで一緒に楽しめるわかりやすい競技で、世代を超えた地域での繋がりに一役かっています。

新春歩け歩け大会では、多くの方と新春の挨拶を交わすことができ、4キロメートルの歩行で体も温まり2神社へ参拝もでき、新年早々さわやかな年を迎えることができます。

私自身、これらの行事を楽しみに、携わることで多くの人との関わり合いを持つことができ、下石町民の一員として絆を深めることができたと思っています。

スポーツ協会の活動とはまちづくりそのものです。組織を起し継続していただいた先輩方に感謝し、今後もスポーツ協会が継続するよう努力していきたいと思っています。

\*\*\*\*\*

## ●現在の役員

|        |       |
|--------|-------|
| 会 長    | 西部 浩司 |
| 副 会 長  | 宮嶋 紀和 |
| 副会長兼会計 | 加藤 昇  |
| 理 事    | 稲垣 浩文 |
| 副 理 事  | 松岡 正和 |



下石町夏祭り

## ●協会10年間のあゆみ

(平成27年から令和6年までの10年間のあゆみ)

### 年間の活動状況

- 4月 市民スポーツ大会出場種目  
受付・取りまとめて申込書提出
- 5月 市民スポーツ大会・開会式  
町内各出場種目補助金交付  
男女混合ソフトボール大会
- 6月 インディアカ大会



インディアカ大会

7月 下石町夏祭り

8月 町民野球大会（予選）

9月 町民野球大会（決勝）



町民野球大会

10月 グラウンドゴルフ大会  
ソフトバレーボール大会

11月 下石町文化祭

1月 新春歩け歩け大会

下石公民館 ➡ 若宮神社 ➡ 八剣神社



新春歩け歩け大会

3月 下石早朝野球開会式

### 新旧役員引継ぎ

※毎月第1水曜日 本部役員会議

公民館で例会の打合せ

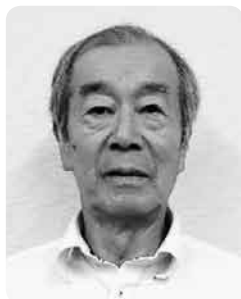
毎月第2水曜日 月例会

公民館で各事業の打合せ等

## ●今後の課題・展望

- ・人口減少により人集めが難しくなっている。(新春歩け歩け大会)
- ・事業がマンネリ化している。
- ・温暖化により夏の行事の実施に配慮が必要である。

# 妻木町体育協会



会 長  
鈴木 正義

妻木町体育協会会長の鈴木正義でございます。

妻木町体育協会は、市民総合スポーツ大会に出場する競技の種目競技理事、各町内から選出される体育委員、及び本部役員で構成しております。

体育協会の主催行事として、毎年ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、町民野球大会を実施しております。

コロナ禍を経て、大会参加チームが減少しており、時代の移り変わりに合わせた大会の開催方法を模索しているところです。



## ●現在の役員

会 長     鈴木   正義  
理事長   羽柴   浩司

## ●協会の10年間のあゆみ

体育協会では、先に紹介した主催大会のほか、自治会主催の町民運動会を共催しておりましたが、コロナ禍での中止を経て廃止となりました。現在はそれに代わる行事として自治会主催のスポーツフェスティバルが開催され、妻木町体育協会も運営に協力をしているところです。

## ●今後の課題・展望

コロナ禍を経て体育協会の主催行事も参加者が集まらず開催がままならない状態が続いております。競技に参加できる年齢や性別の条件を緩和したり、誰もが参加しやすい競技内容とするなど、大会を支えてくださる皆さんの声を聞きながら、競技の継続を進めていきたいと考えています。



土岐市スポーツ協会70周年、誠におめでとうございます。

スポーツ要綱に基づき、スポーツを通してすべての町民及び地域に勤めるすべての人が健やかに、朗らかで健康保持と体力の増進、併せて相互の親睦を図る事を目的として、土岐市鶴里町体育協会と称し自治会・公民館と協力しながら事業を主催し共に土岐市全体としてのスポーツの拡大を図って来ました。

市スポーツ協会70周年を迎え、スポーツ要綱に沿い鶴里町民、土岐市民が、更なる健康・ふれあい・礼儀等の増進・精神継続が行われる事を希望し挨拶とします。

\*\*\*\*\*

## ●現在の役員

会 長 伊藤 眞也  
副 会 長 井野 寛義  
庶務会計 福岡 靖久  
理 事 長 長江 利勝

## ●協会のあゆみ

### 【スポーツ要綱】

スポーツは人間だけがもつ文化の一つである。

これをより高く、より美しいものにするには、スポーツを行う者の精神とそれを取りまく環境の清らかな事が必要である。美しいスポーツマンシップは、このような世界の中で生まれ、やがて生活を導く基として社会のために貢献するであろう。故にスポーツマンは競技場にあると同じ精神と態度で生活し、りっぱな社会人でなければならない。ここに真のスポーツがあまねく行き渡り、すべての人のものとして発展することを希い、スポーツ綱領を定めた。

◎競技する者は、スポーツを愛好し、ひいてはそれを心と身体の糧とし、明るい光とすがすがしい空気のなかで、純粋にスポーツを行うこと。

◎競技する者は、スポーツを行う事によって、社会的名声や物質的な利益を得ようという考えをもたないこと。

◎競技する者は、審判の判定を重んじ、その決定に満足しない場合でも感情的に支配されぬ行動をとること。

◎競技する者は、つねに明朗で、相手を尊重しつ

つ自分の最善を尽くし、その成果に満足すること。

◎競技を審判する者は、規則に従って公正に判断し、競技を明るく滑らかに進めること。

◎競技を見る者は、感情にとらわれた応援をせず美しい精神とすぐれた技をたたえスポーツによりよい発展を希うこと。

上記スポーツ要綱に基づき、町民運動会や公民館事業との連携に基づく夏祭りスポーツ広場、三国山山頂までの元旦歩こう会、土岐市主催の市民総合スポーツ大会、土岐市一周駅伝、スポーツフェスティバルへの協力を行ってきた。その後、人口減少と少子高齢化、小中学校の統合等により曾木町と合同で濃南町民運動会を開催するようになり、青少年育成の推進目的として中学生ボランティアを募り、スポーツの推進を図ってきた。

令和3年11月、鶴里町・曾木町合同運動会についての会議を開催、今後の在り方について議論。意見として、学校からは競技種目も今までできていた競技ができなくなってきたおり、令和元年度からは、小中合同の運動会として実施しており学校としては、地域の方との交流を重視していきたいと考えている。公民館からは、環境美化等学校運営協議会の中において協力しているが、例年協力者が減少しており、今後どのようにしていくかが課題となっている。小中町民合同実施に向けて建設的に考えて行きたい。

また、高齢者からは、濃南町民運動会を開催し



た時、あの子はどこの子やとか子供を知ることができて大変良いことであった。濃南として、小中学校町民が一つになって実施していくことは、大変良いことであり、是非続けて行けるよう努力したいとの意見があり、自治会からは、現在の状況から考えると、運動会そのものをやめると言う事になるから、やりながら、課題点を一つずつ考慮していく方法の方が良いと考える。等の意見により、令和4年度からすべての町民が健やかに、朗らかであることを望み、生活を楽しく豊かにするために、職場、家庭にまでレクリエーションを広く一般に普及させるとともに健康の増進と体力の

向上を計り、町民の親睦を目的として、濃南こども園・濃南小中学校・濃南地区の施設等に関わる住民すべてで、ふれあい運動会を開催する事とした。

令和4年度から開催に向け、小中学校において協議を重ねてきたが、新型コロナの影響や天候不順な事が重なり、やっと、令和7年度に第1回のうなんふれあい運動会を子供たちを中心とした企画において、濃南地区にかかわる住民が一堂に会して開催できた。



## ●今後の課題

今後、より少子高齢化が進む中で、アクセスの問題等地域的に課題が残されており、住民のスポーツに対する考え方の持続とふれあいの精神が失われないよう如何に楽しく行っていけるような努力が必要である。

継続は力なり……大切なことである。

# 曾木町体育協会



会 長  
日比野 司

曾木町体育協会は発足以来、スポーツを通じて町民の親睦を図るために、各スポーツ団体や一生懸命にスポーツに取り組んでいる町内の皆さんと多様な事業を展開しています。特に子供からお年寄りまで楽しめる軽スポーツの普及や各スポーツ団体のバックアップを行うことで、健康な身体の維持と活気ある町内となるよう活動しています。

今年度は、ようやく町内の皆さんが参加する「のうなん ふれあい運動会」を開催することができました。コロナ禍や悪天候の影響で運動会が延期になり、5年間小中学校単独の開催となっていました。今年も前夜に雨が降り、運動会が開催できるか心配でしたが、グラウンドコンディションが良かったのでなんとか開催することができました。



## ●現在の役員

|       |                                          |
|-------|------------------------------------------|
| 会 長   | 日比野 司                                    |
| 副 会 長 | 竹内 健                                     |
| 理 事 長 | 小木曾敏貴                                    |
| 会 計   | 日比野純一郎                                   |
| 理 事   | 安江 大、坂井 道佳<br>岡本 嘉和、安藤 一志<br>水野 慎治       |
| 地区役員  | 内藤 哲哉、岡島 丈久<br>中野 充貴、岡田 卓也<br>水野 潤一、中嶋 厚 |

## ●主催行事

### 〈市民スポーツ大会（5～6月）〉

今年度は、陸上、バレーボール、アーチェリー、ボウリング、ゴルフ競技に多数の町民の皆さんに参加していただきました。

今年も残念ながら総合8位となりました。



### 〈のうなん ふれあい運動会（10月）〉

「のうなん ふれあい運動会」は濃南小・中学校の生徒、濃南こども園の園児と町内の皆さんが参加する濃南地区ならではの運動会です。曾木町と鶴里町の体育協会の役員で、運動会の準備、運営、後片付けのサポートを行いました。

小中学生の競技を応援しながら、町内の皆さんも楽しく体を動かすことができました。



### 〈曾木町 ボウリング大会（12月）〉

今年度は、土岐グランドボウルにてボウリング大会を行いました。小学生からお年寄りの方まで多数の方に参加していただきました。参加者からは来年もまた開催してほしいとの意見がありました。

### 〈大中グラウンド整備（年2回）〉

町内のグラウンドの整備（草刈り・トイレ清掃）を行いました。

### 〈曾木町夏祭り（8月）〉

お盆に開催される曾木町の夏祭りに、焼き鳥店を出店しました。

## ●今後の課題・展望

曾木町は少子高齢化、人口減少により、各スポーツイベントの参加者が少なくなっています。特に若者や女性の参加者を集めることが難しくなっています。毎年、同じ方に参加していただいているので、新しい方も参加しやすいような仕組み作りが必要と考えています。

体育協会の役員集めにも苦慮しています。役員も高齢化が進んでいるので、若い方が役員になってもらえるよう各町内にお願いしています。

今後も、子供からお年寄りまでみんなで楽しめる軽スポーツの普及を目指し、町内の皆さんが誰でも気軽に参加できる新しいスポーツにも取り組んでいきたいと考えています。

# 駄知町体育協会



会 長  
栗 山 英 治

この10年間駄知町体育協会は「スポーツを通じて健康で明るい町づくり」を目標に町民の皆さまの支えを受けながら活動してきました。

世代を超え子どもから高齢者までが集い笑顔で汗を流す場を提供することを使命とし、地域の絆を育んできました。

現在は若いメンバーも加入し、消防団とかけもちのメンバーもいますが、町のためにがんばってくれています。



## ●協会の10年間のあゆみ

(平成27年から令和6年までの10年間のあゆみ)

### 1. 活発な地域スポーツの広がり(2015～2019年)

球技大会、町民運動会、駅伝大会、各種スポーツ教室など多くの行事を開催し、参加者同士の交流が深まりました。特に球技大会はチームワークを通じて仲間との絆を育む貴重な機会となり、年々参加者も増加、町全体がスポーツで盛り上がる時期でした。



### 2. 試練と再起の時代(2020～2021年)

新型コロナウイルスの影響により町内のすべてのスポーツ行事が中止となり、体育協会としても活動停止を余儀なくされました。しかし私たちは「スポーツの灯を消さない」という思いを胸に感染対策を講じながら、個人でできるウォーキングやストレッチの推進に取り組みました。活動の形は制限されても、健康づくりの精神だけは絶やさず、再開への希望を繋ぎました。

### 3. 新しい形への挑戦(2022年～現在)

コロナ禍を機に長年親しまれた「町民運動会」は惜しまれつつも終了となりました。

その代わりにより多くの町民が参加できる「町民ウォーキング大会」が誕生。距離や順位を競うのではなく「歩く事を楽しみ健康を意識する」事を目的に多世代が気軽に参加できる新たなスポーツイベントとして定着しています。

## ●これからの10年に向けて

これまでの経験を糧にこれからも「誰もが、いつでも、楽しくスポーツに取り組める町」を目指します。競技スポーツに加え、健康維持・仲間作り・生きがい作りの視点を取り入れ、町民一人ひとりが輝ける環境を整えていきます。

スポーツは身体を鍛えるだけでなく、心を繋ぎ地域をひとつにします。

私たちはこれからも、その架け橋であり続けたいと願っています。





## ●本年度本部役員

| 役 職 | 氏 名   | 役 職  | 氏 名   | 役 職     | 氏 名    |
|-----|-------|------|-------|---------|--------|
| 会 長 | 栗山 英治 | 副会長  | 太田 慎一 | 副会長     | 松原江理子  |
| 理事長 | 川合 新  | 総 務  | 青山 晃久 | 副総務     | 塚本 和昭  |
| 会 計 | 塚本 秀樹 | 会 計  | 塚本 大作 | 役 員     | 加藤 栄一  |
| 役 員 | 川合 隆文 | 役 員  | 田中 義茂 | 役 員     | 中川 慎一  |
| 役 員 | 高須 啓一 | 役 員  | 大矢 昌範 | 役 員     | 鈴木 好作  |
| 役 員 | 塚本 北斗 | 役 員  | 林 勇気  | 役 員     | 奥谷 典士  |
| 役 員 | 長江 敏充 | 役 員  | 堀 倫久  | 役 員     | 塚本 雄平  |
| 役 員 | 大橋 紀之 | 役 員  | 大矢 和代 | 役 員     | 小木曽ひとみ |
| 役 員 | 正村 絹代 | 役 員  | 正村 優  | 役 員     | 野畑 エミ  |
| 役 員 | 永江 千秋 | 会計監査 | 工藤 工  | スポーツ推進員 | 加藤 健治  |

## ●過去10年間歴代体育協会会長（副会長、理事長）

| 西暦（和暦）      | 会長    | 副会長   | 副会長   | 理事長   |
|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 2016（平成28年） | 仙石 清文 | 西尾 敏一 |       | 佐橋 俊行 |
| 2017（平成29年） | 仙石 清文 | 西尾 敏一 |       | 佐橋 俊行 |
| 2018（平成30年） | 加藤 健治 | 長瀬 悟  | 加藤 栄一 | 加藤 守  |
| 2019（令和元年）  | 加藤 健治 | 長瀬 悟  | 加藤 栄一 | 加藤 守  |
| 2020（令和2年）  | 酒井 充裕 | 加藤 国博 | 栗山 英治 | 川合 新  |
| 2021（令和3年）  | 酒井 充裕 | 加藤 国博 | 栗山 英治 | 川合 新  |
| 2022（令和4年）  | 酒井 充裕 | 加藤 国博 | 栗山 英治 | 川合 新  |
| 2023（令和5年）  | 酒井 充裕 | 加藤 国博 | 栗山 英治 | 川合 新  |
| 2024（令和6年）  | 栗山 英治 | 太田 慎一 | 松原江理子 | 川合 新  |



令和5年度 軟式野球大会 優勝チーム



令和5年度 球技大会インディアカ大会

# 肥田町体育協会



会 長

木 股 栄 作

土岐市スポーツ協会70周年、誠におめでとうございます。

肥田町体育協会は、1961年（昭和36年）4月に発足し、市及び町内行事に携わってきました。新型コロナウイルスの影響で、当協会が中心となって行う町内行事が無くなり、現在は補助的な立場で活動している状況です。

土岐市スポーツ協会の益々のご発展と関係者各位のご活躍をお祈り申し上げます。

## ●現在の役員

会 長 木股 栄作

理事長 近藤 智也

## ●協会の10年間のあゆみ

（平成27年から令和6年まで）

毎年5月に町民運動会を開催し、主管として競技進行・運営してきました。しかしながら2020年（令和2年）に新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止されて以降、開催されなくなりました。



|      |      |     |     |     |     |
|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 上肥田1 | 上肥田2 | 起   | 睦美  | 追分  | 原   |
| 182  | 150  | 143 | 178 | 219 | 148 |
| 下肥田1 | 下肥田2 | 高根  | 浅上  | 浅下1 | 浅下2 |
| 154  | 121  | 205 | 192 | 210 | 224 |



2022年（令和4年）11月からは町民運動会に代わる行事として『肥田町みんなのフェスティバル』（通称 肥田フェス）が開催されるようになり、モルック体験のコーナーを担当しています。

また市営高根グラウンドの指定管理者としてグラウンドの管理・整備を行っています。

## ●今後の課題・展望

当協会は、役員の任期を2年とし、理事（会長を除く）は毎年41歳（前厄）を迎える学年から10名が入会、前年入会の10名と合わせて20名で運営することを基本としています。しかしここ数年は役員の人数確保が難しくなっており、今後の大きな課題といえます。

# 泉町スポーツ協会



会 長  
小 栗 忠 人

泉町スポーツ協会は、長く受け継がれてきました事業目的として「町民相互の親睦と体力の向上」があり、その実現のため年間通して行事を運営しております。

また、土岐市民スポーツ大会において、35連続（感染症対策の為3年間休止あり）の総合優勝を果たしており、スポーツの盛んな町であります。



平成11年の航空写真



令和元年の航空写真

## ●協会10年間のあゆみ

少子化の流れで、年々泉町民運動会に参加する町内の減少傾向が止まらなくなり、このままの運営で良いかを考えるため、数年前より泉町連合区長会を中心に協議会を立ち上げ検討しました。その時は「やっぱり運動会をやろう」という流れでしたが、コロナ禍で中止だった間に泉町民皆様の心境に変化が出たようで再開はかなわないものとなりました。

しかし、このままではスポーツ離れに拍車がかかってしまうと思われ、土岐市のスポーツフェスティバルを参考に、令和5年度より泉町スポーツフェスティバルを行う事になりました。

キャッチフレーズに、「子どもから高齢者まで誰もが楽しめる、気軽に参加できるイベント」としました。すでに複数回行いましたが、少しずつ参加者も増えてきており、町民の方にも認知されて来たと思います。

## ●今後の課題・展望

泉町スポーツフェスティバルは、土岐市民スポーツ大会の種目を中心に体験してもらうイベントです。この体験から興味を持ち、将来の選手に繋がればうれしく思います。



開会式

## いろいろなスポーツ体験



## 【参考資料（令和7年度のスポーツフェスティバルの種目）】

### 《種目》

#### グラウンド

- ・ストラックアウト（体育館ステージに移動）
- ・キックターゲット（雨天のため中止）
- ・グランドゴルフ（雨天のため中止）
- ・フラフープ（受付近くの通路で）

#### 体育館

- ・パターゴルフ
- ・バスケット
- ・輪投げ
- ・卓球
- ・インディアカ



# 土岐市スポーツ協会規約・規程集

土岐市スポーツ協会

## 目 次

|                   |    |
|-------------------|----|
| 土岐市スポーツ協会規約       | 67 |
| 土岐市スポーツ協会加盟団体規程   | 69 |
| 土岐市スポーツ協会特別会員規程細則 | 69 |
| スポーツ教室等開催補助金支給規程  | 70 |
| スポーツ交流補助金支給規程     | 70 |
| スポーツ振興補助金支給規程     | 71 |
| スポーツ振興激励金交付基準     | 71 |
| 土岐市スポーツ協会表彰規程     | 72 |
| 土岐市スポーツ協会表彰規程細則   | 73 |
| 市長感謝状推薦規程         | 74 |
| 土岐市功労者表彰推薦規程      | 74 |
| 特別表彰規程            | 75 |

# 土岐市スポーツ協会規約

## 第1章 名 称

第1条 本会は土岐市スポーツ協会という。

## 第2章 事務局

第2条 本会は事務局を岐阜県土岐市教育委員会事務局に置く。

## 第3章 目 的

第3条 アマチュアスポーツを普及振興して、市民の体力・技術力向上とスポーツ精神を養うことを目的とする。

## 第4章 事 業

第4条 本会は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1)スポーツの普及振興に関する基本方針を審議確立すると。
- (2)加盟団体の強化発展と相互の融和を図ること。
- (3)東濃スポーツ大会・岐阜県民スポーツ大会等に土岐市を代表する競技者及び役員を選定し、参加すること。
- (4)土岐市民スポーツ大会を主催者の意向を受け、開催すること。
- (5)講習会・スポーツ教室・その他スポーツに関する各種事業の実施及び援助をすること。
- (6)競技力の向上を図ること。
- (7)スポーツ少年団を育成すること。
- (8)スポーツに功績のあった者の表彰及び、市長感謝状受賞者・市制記念体育功労者を推挙すること。
- (9)スポーツ施設の整備拡充を促進すること。
- (10)スポーツに関する調査・宣伝・斡旋及び啓蒙を図ること。
- (11)スポーツ姉妹都市とのスポーツ交流を促進すること。
- (12)その他本会の目的達成に必要な事業を行うこと。

## 第5章 組 織

第5条 本会は市内における次の団体をもって組織する。

- 2 全市を総括する各種体育団体（アマチュアスポーツ団体）及び市内8町（土岐津町・下石町・妻木町・鶴里町・曾木町・駄知町・肥田町・泉町）各町民のスポーツ活動を総括する各町スポーツ団体で、本会の趣旨に賛同するものをもって組織する。

## 第6章 加盟及び脱会

第6条 前条の団体（以下「加盟団体」と言う。）は、理事会の決議を経て加盟する。

第7条 本会の加盟団体が第5条に掲げる資格を失ったとき又は本会の加盟団体として不適当と認めたときは、理事会の決議を経て除名することができる。

第8条 加盟団体は別に定める加盟団体に関する規定を守らなければならない。

## 第7章 会 計

第9条 大会の経費は次に掲げるもので支弁する。

- (1)分担金
- (2)協力費
- (3)補助金
- (4)事業収入
- (5)寄付金
- (6)その他の収入

第10条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第11条 会計年度の終わりに余剰金があるときは翌年度に繰り越す。

第12条 本会の予算は常任理事会で編成し、理事会の承認を経なければならない。

2 決算は監事の監査を経て理事会の承認を得なければならない。

## 第8章 役 員

第13条 本会に次の役員を置くことができる。

- |          |                   |
|----------|-------------------|
| (1)名誉会長  | 1名                |
| (2)相談役   | 若干名               |
| (3)顧問    | 若干名               |
| (4)参与    | 若干名               |
| (5)会長    | 1名                |
| (6)副会長   | 若干名               |
| (7)理事長   | 1名                |
| (8)副理事長  | 若干名               |
| (9)常任理事  | 若干名               |
| (10)理事   | 各加盟団体1名・会長推薦理事若干名 |
| (11)監事   | 2名                |
| (12)庶務会計 | 若干名               |

第14条 名誉会長は市長とする。但し、常任理事会において市長が会長に推挙され、理事会で承認された場合は空席とする。

2 会長及び副会長は常任理事会で推挙し、理事会の承認を経なければならない。

- 3 会長は本会を代表して会務を統轄する。但し、市長が会長のときはこの限りではない。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が市長のときはその職務を代行することができる。
- 5 名誉会長・相談役・顧問・参与は会長の要請により、会長会議・常任理事会・理事会に出席し意見を述べ、助言することができる。

第15条 理事長・副理事長は理事会で互選する。

- 2 理事長は理事会の会務を執行し、理事会の運営の責に当たる。
- 3 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故があるときはその職務を代行する。

第16条 理事は加盟団体より各1名選出する。他に会長が必要と認めた場合は理事会に諮って若干名の理事を委嘱することができる。

- 2 理事は理事会を構成し本会の重要事項を審議決定する。
- 3 理事長、副理事長、監事、庶務会計が理事より選出された場合は、その加盟団体はこれに替わる理事を選出するものとする。
- 4 会長が必要と認めたときは、理事会に諮って理事で構成する専門委員会を設けることができる。

第17条 常任理事は三役（会長・副会長・理事長）が理事の中から次により推挙し理事会の承認を経なければならない。

- (1)各種スポーツ団体代表 12名  
(平成21年3月25日理事会承認)
- (2)各町スポーツ団体代表 4名
- (3)事務局 1名
- 2 常任理事会は、会長、副会長、理事長、副理事長、上記代表理事、庶務、会計で構成する。

第18条 監事は会長が理事会に諮って委嘱する。

- 2 監事は会計を監査する。
- 3 監事は理事会に出席して意見を述べることができる。

第19条 庶務会計は会長が任命し、本会の事務並びに会計を処理をする。

第20条 会長はスポーツの功労者・学歴経験者のうちから理事会の承認を経て相談役・参与及び顧問を委嘱することができる。

- 2 参与及び顧問は会長の要望を受け理事会に出席し意見を述べるすることができる。

第21条 役員の任期は2年として再任を妨げない。

- 2 補充役員の任期は前任者の残存期間とする。
- 3 役員は任期満了しても後任者が就任するまで前職務を行う。

## 第9章 会 議

第22条 本会の会議は会長会議・常任理事会及び理事会とする。

(会長会議)

第23条 会長が会務の運営上、必要のある場合は、加盟団体長を召集し、会議を開催することができる。

- 2 会長会議の議長は理事長が当たる。

(常任理事会)

第24条 常任理事会は必要に応じて会長が召集する。

- 2 常任理事会の議長は理事長が当たる。
- 3 常任理事会は理事会に付議する重要事項の企画立案審議を行うものとする。
- 4 常任理事会は常任理事の2分の1以上の出席により成立し、その議事は出席常任理事の過半数で決し、可否同数のときは議長が決する。
- 5 会議出席は委任状をもってこれに代えることができる。

(理事会)

第25条 理事会は会長、副会長、理事長、副理事長、理事、庶務、会計で構成する。

- 2 理事会は必要に応じて会長が招集する。
- 3 理事会の議長は理事長が当たる。理事会は次の議事を審議する。
- 4 理事会は次の議事を審議する。
  - (1)予算、決算
  - (2)事業計画
  - (3)役員選出
  - (4)規約、各規程（細則）内規の改廃
  - (5)加盟、脱会
  - (6)その他重要な事項
- 5 理事会の議事等は第24条第4項、同条第5項を準用する。

## 第10章 特別会員

第26条 本会の目的に賛同して細則に定める会費を納入したものを特別会員とする。

第27条 特別会員は本協会主催の記念事業に招待する。

第28条 特別会員は毎年決算の報告を受ける。



## 第11章 雑 則

第29条 本規約は昭和33年4月1日より実施する。

昭和33年4月1日制定

昭和46年6月17日改訂

昭和50年4月8日改訂及び追加

昭和52年4月1日改訂及び追加

昭和60年4月1日改訂及び追加

平成3年8月1日改定及び追加

平成10年4月23日改正、4月1日適用

平成21年3月25日改正

令和元年12月10日改正、

令和2年4月1日適用

令和5年6月1日改正

## 土岐市スポーツ協会加盟団体規程

第1条 規程第8条により本規程を設ける。

第2条 加盟団体は規約第5条に該当する団体でなければならない。

第3条 加盟団体は毎年所定の期日までに、下記書類及び分担金を会長あてに事務所まで提出しなければならない。

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| (1)翌年度の事業計画             | 3月20日 |
| (2)翌年度予算書               | 3月20日 |
| (3)役員名簿                 | 3月20日 |
| (4)当該年度事業報告書            | 4月15日 |
| (5)当該年度決算書              | 4月15日 |
| (6)その他本会の目的達成に必要と思われる事項 | 4月15日 |

第4条 加盟団体は第3条により提出した書類に移動、変更が生じた場合は直ちにその旨を届出なければならない。

- (1)加盟申込書
- (2)規約
- (3)所属団体一覧表
- (4)役員名簿（住所・氏名）
- (5)前年度事業報告書
- (6)当該年度事業報告書
- (7)当該年度予算書

## 土岐市スポーツ協会特別会員規程細則

第1条 規程第26条により本細則を設ける。

第2条 特別会員の区別及び会費の年額は次のとおりとする。

- |           |    |           |
|-----------|----|-----------|
| (1)特別名誉会員 | 1口 | 30,000円以上 |
| (2)特別賛助会員 | 1口 | 25,000円以上 |

## スポーツ教室等開催補助金支給規程

土岐市スポーツ協会は、スポーツの振興・普及を図るため、次のとおり補助金を交付する。

### 1 補助要件

- (1)広報で一般募集し、開催期間が4日以上教室とする。ただし、特殊な種目はこの限りでない。

### 2 補助対象事業

- (1)スポーツ教室・スポーツ講習会 等

### 3 補助金額

- (1)対象人数10人以上20人以下を10,000円とする。  
(2)対象人数21人以上30人以下を20,000円とする。  
(3)対象人数31人以上40人以下を30,000円とする。  
(4)対象人数41人以上を40,000円とする。

### 4 補助金交付申請

- (1)別紙申請書を事前に提出しなければならない。

### 5 実績報告

- (1)事業完了後、速やかに別紙実績報告書及び証拠書類を提出しなければならない。

### 6 実 施

- (1)平成2年4月1日から  
(2)平成6年4月1日から  
(3)平成10年4月1日から  
(4)平成19年4月1日から

【平成2年6月27日の理事会で決定】

【平成6年4月12日の理事会で決定】

【平成10年3月25日の理事会で決定】

【平成19年7月5日の理事会で決定】

## スポーツ交流補助金支給規程

土岐市スポーツ協会は、土岐市と焼津市とのスポーツ交流姉妹都市締結にのっとり、両市のスポーツ交流を推奨し、もって競技力向上を図り、両市民がスポーツを通じて健康な体力と親睦を深め、末永いスポーツ交流を望むものである。

### ＜補助金支給＞

土岐市スポーツ協会は、加盟団体のスポーツ交流に対し、次のように補助金を支給する。

#### 1 会場が焼津市の場合（本交流は含まない）

会場が焼津市の場合1人に対し1,000円とする。  
ただし、支給限度額は50,000円とする。

#### 2 会場が土岐市の場合（本交流は含まない）

会場が土岐市の場合1人に対し500円とする。  
ただし、支給限度額は25,000円とする。

#### 3 その他の交流

- (1)記念事業及び特別事業に関する交流  
(2)その他の事業については、その都度スポーツ協会において協議する。

### 4 補助金支給の条件

- (1)2週間前までに土岐市スポーツ協会、土岐市スポーツ交流委員会に、土岐市・焼津市スポーツ交流申請書が提出されているもので、土岐市スポーツ協会が認めたもの。

- (2)土岐市スポーツ協会が認められたもので、スポーツ交流後、10日以内に実績報告書が、土岐市スポーツ協会、土岐市スポーツ交流委員会に提出されているものであること。

### 5 実 施

- (1)平成19年4月1日から

【昭和56年11月27日の理事会において決定】

【平成6年4月12日の理事会において一部改正】

【平成10年3月25日の理事会において一部改正】

【平成19年7月5日の理事会において一部改正】

# スポーツ振興補助金支給規程

土岐市スポーツ協会は、スポーツの振興・普及を図るため、スポーツ教室開催補助金及びスポーツ交流補助金の適用を受けない事業に対し、次のとおり加盟団体に振興補助金を交付する。

## 1 補助対象事業

- (1)加盟団体が主催するスポーツ事業等
- (2)その他、土岐市スポーツ協会が必要と認めたスポーツ事業等

## 2 補助金額

- (1)開催日が1日で終了するスポーツ事業等は5,000円とする。
- (2)開催日が連続2日以上（順延によるものは認めない）にわたるスポーツ事業等は、10,000円とする。
- (3)その他、事業規模等により土岐市スポーツ協会が必要と認めた場合は、10,000円を上限に補助金を支給する。
- (4)補助金額は、一団体年間50,000円を限度とする。

## 3 補助金交付申請

- (1)別紙申請書を事前に提出しなければならない。

## 4 実績報告

- (1)事業完了後、速やかに別紙実績報告書及び証拠書類を提出しなければならない。

## 5 実施

- (1)平成19年4月1日から

【平成19年7月5日の理事会で決定】

# スポーツ振興激励金交付基準

## 1 目的

土岐市スポーツ協会は、スポーツの振興を図るため、加盟団体の個人若しくは団体が、国、岐阜県を代表してスポーツ大会に参加する監督・選手等に対し、激励金を交付する。

## 2 対象となる大会

- (1)全国規模の大会
- (2)国際規模の大会
- ※県大会以上の予選を経るか、成績優秀で推薦されたものに限る。

## 3 対象者

個人は土岐市在住又は在学・在勤者、団体は土岐市内に所在する団体とする。

## 4 激励金の額

- (1)個人としての参加      1人      5,000円
- (2)団体としての参加      1団体   10,000円
- ただし、大会規模等により加算することができる。

## 5 激励会及び報告会

市及び教育委員会が行う激励会及び報告会（表敬訪問含む）に同席することが出来る。

## 6 実施

- (1)平成19年4月1日から
- (2)平成29年7月1日から
- (3)令和5年4月1日から

【平成19年7月5日の理事会で決定】

【平成29年6月30日の理事会で改正】

【令和5年3月23日の理事会で改正】

# 土岐市スポーツ協会表彰規程

第1条 土岐市の体育振興に貢献したものと及びスポーツ大会において優秀な成績を収め他の模範となったものについては本規程によって表彰する。

第2条 表彰されるものの決定は会長の推薦並びに各加盟団体から推薦されたものについて理事会の議を経て会長がこれを行う。

第3条 審査及び推薦の基準は次のとおりです。

1. 体育功労賞

ア. 土岐市スポーツ協会三役（含副理事長）を務めたもの

イ. 土岐市スポーツ協会役員（理事・監事）として8年以上務め、スポーツ協会の発展とスポーツ振興に寄与したもの

ウ. 加盟団体の会長を4年以上務め、スポーツ振興に寄与したもの

エ. 国体に3回以上出場し優勝したもの

オ. 国体に5回以上出場したもの

カ. 岐阜県体育大会、岐阜県都市体育大会に6回以上出場し、3回以上優勝したもの

キ. 加盟団体が特別に申請し、審査会において適当と認められるもの



# 土岐市スポーツ協会表彰規程細則

- 第1条 土岐市スポーツ協会は市制記念市民スポーツ大会開会式において、土岐市スポーツ協会の発展とスポーツの普及に尽力したものを表彰する。
- 第2条 被表彰者の決定は会長の推薦並びに加盟団体から推薦されたものについて理事会の議を経て会長がこれを行う。
- 第3条 表彰部門は次のとおりとする。
1. 優秀選手及び優秀チーム賞
  2. 特別優秀選手及び特別優秀チーム賞
  3. 感謝状
  4. 体育功労賞
- 第4条 次に該当するものは表彰の対象とならない。
1. 特別表彰規程によるスポーツ功労賞、スポーツ栄誉賞を受賞したもの
  2. 土岐市功労者表彰（スポーツ部門）を受賞したもの
  3. 市長感謝状を受賞したもの
  4. 同一の表彰を受けたもの
- 第5条 各加盟団体は表彰規程第8条に掲げる基準に該当するものがある時は、毎年市民総合体育大会前30日迄に推薦状に次の項目を記載した書類を添えて会長に提出する。
1. 氏名、住所、生年月日
  2. 加盟団体名及び所属期間
  3. スポーツ歴
  4. 加盟団体の推薦理由
  5. その他特記すべき事項
- 第6条 表彰者は会長が表彰状及び記念品を贈呈して行う。
- 第7条 表彰の順位は次のとおりとする。
1. 優秀選手及び優秀チーム賞 (スポ協)
  2. 特別優秀選手及び特別優秀チーム賞(スポ協)
  3. 感謝状 (スポ協)
  4. 体育功労賞 (スポ協)
  5. 市長感謝状 (市長)
  6. 土岐市功労者表彰 (市長)
  7. スポーツ功労賞 (スポ協)
  8. スポーツ栄誉賞 (市長)
- 第8条 表彰基準は次のとおりとする。
1. 優秀選手及び優秀チーム賞
    - ア. 国体に参加し土岐市スポーツの発展に貢献したもの
    - イ. 県大会（県スポ）に5回以上出場したもの
    - ウ. 県大会（県スポ・その他の大会）で優勝したもの
  - エ. 各協会ですべてに申請し審査会において適当と認められたもの
  2. 特別優秀選手及び特別優秀チーム賞
    - ア. 国際試合に選手として参加し土岐市スポーツの発展に貢献したもの
    - イ. 国体に3回以上出場し土岐市スポーツの発展に貢献したもの
    - ウ. 全国大会（国体・その他の大会）で入賞したもの
    - エ. 県大会（県スポ）に4回以上出場し2回以上優勝したもの
    - オ. 県大会（県スポ）に8回以上出場したもの
    - カ. 各協会が特別に申請し審査会において適当と認められたもの
  3. スポーツ協会感謝状
    - ア. スポーツ協会役員（理事・監事）を4年以上務め土岐市スポーツ振興に寄与したもの
    - イ. 加盟団体の会長を務めたもの、又は副会長、理事長として6年以上務めスポーツ普及に尽力したもの
    - ウ. 各協会ですべてに申請し審査会において適当と認められたもの
  4. 体育功労賞（スポーツ協会）
    - ア. 土岐市スポーツ協会三役（含副理事長）を務めたもの
    - イ. 土岐市スポーツ協会役員（理事・監事）として6年以上務め、スポーツ協会の発展とスポーツ振興に寄与したもの
    - ウ. 加盟団体の会長を4年以上、又は副会長、理事長を8年以上務めスポーツの普及に尽力したもの
    - エ. 国際試合に選手として参加し予選を通過、又はそれに準ずる成績をあげたもの
    - オ. 国体に4回以上出場し土岐市スポーツの発展に貢献したもの
    - カ. 県大会（県スポ）に6回以上出場し3回以上優勝したもの、又は10回以上出場したもの
    - キ. 加盟団体が特別に申請し審査会において適当と認められたもの

## 市長感謝状推薦規程

1. 市長感謝状の贈呈は市民総合体育大会の開会式において行う。
2. 特別表彰のスポーツ功労賞、スポーツ栄誉賞及び土岐市功労賞表彰（スポーツ部門）を受けたものは該当しない。
3. 一度受賞したものは二度と受賞できない。
4. 市長感謝状は次の基準に該当するものを推薦する。
  - ア. 土岐市スポーツ協会三役（含副理事長）を4年以上務めスポーツ協会の発展とスポーツ振興に寄与したもの
  - イ. 土岐市スポーツ協会役員（理事・監事）を8年以上務めスポーツ協会の発展とスポーツ振興に寄与したもの
  - ウ. 加盟団体の会長を8年以上、又は副会長、理事長を10年以上務めスポーツ普及に尽力のあったもの
  - エ. 国際大会で10位以内の成績を収めたもの
  - オ. 国体に5回以上出場したもの
  - カ. 県大会（県体・都市体）に8回以上出場し4回以上優勝したもの、又は12回以上出場したもの
  - キ. 土岐市スポーツ協会が特に推薦したもの

## 土岐市功労者表彰推薦規定

- 第1条 土岐市スポーツ協会は、土岐市表彰条例に基づく被表彰者候補を理事会の議を経て会長が推薦する。
- 第2条 表彰は市制記念式典で市長が行う。
- 第3条 次に該当するものは推薦の対象とならない。
  1. 特別表彰規程によるスポーツ功労者、スポーツ栄誉賞受賞者
  2. 同一の表彰を受けたもの
- 第4条 推薦基準は次のとおりとする。
  - ア. 土岐市スポーツ協会三役（含副理事長）を6年以上務め、スポーツ協会の発展とスポーツ振興に寄与したもの
  - イ. 土岐市スポーツ協会三役（理事・監事）を10年以上務め、スポーツ協会の発展とスポーツ振興に寄与したもの
  - ウ. 加盟団体の会長を10年以上又は副会長、理事長を12年以上務めスポーツ普及に尽力のあったもの
  - エ. 国際大会で8位以内に入賞したもの
  - オ. 国体に6回以上出場し、3回以上優秀（6位以内）な成績を収めたもの
  - カ. 県大会（県体・都市体）に10回以上出場し5回以上優勝したもの、又は15回以上出場したもの
  - キ. 特に土岐市スポーツ協会が推薦するもの

# 特別表彰規程

第1条 表彰部門は次のとおりとする。

1. スポーツ功労賞…土岐市スポーツ協会が表彰する最高のものとする。
2. スポーツ栄誉賞…土岐市が表彰するスポーツ表彰の最高のものとする。

第2条 スポーツ栄誉賞を受賞したものは、土岐市における他のスポーツ表彰に該当しない。

第3条 この表彰は10年に1回の表彰とする。

第4条 同部門での表彰は1回とする。

第5条 表彰基準は次のとおりとする。

1. スポーツ功労賞（スポーツ協会長）
  - ア. 土岐市スポーツ協会役員（理事・監事）を永年務め、スポーツ協会の発展とスポーツ振興に寄与したもの
  - イ. 加盟団体の会長又は副会長、理事長を永年務めスポーツ普及に尽力のあったもの
  - ウ. 国体に出場したもの
  - エ. 県大会（県体・都市体）に出場し3回以上優勝したもの
  - オ. 加盟団体が特別に申請し、審査会が適当と認めたもの

2. スポーツ栄誉賞（市長）

- ア. 土岐市スポーツ協会三役（含む副理事長）を永年務め、スポーツ協会の発展とスポーツ振興に寄与したもの
- イ. 日本代表として国際大会に出場したもの
- ウ. 日本記録樹立又は全国大会において8位以内に入賞したもの
- エ. 県大会（県体・都市体）で6回以上優勝したもの
- オ. 加盟団体が特別に申請し、審査会が適当と認めたもの

附則

この規程は、平成16年10月1日から適用する。

---

## 土岐市スポーツ協会70周年記念誌

---

令和8年3月31日発行

発 行 土岐市スポーツ協会  
岐阜県土岐市土岐津町土岐口2101番地

印 刷 丸理印刷株式会社  
岐阜県瑞浪市学園台5丁目1-1

---